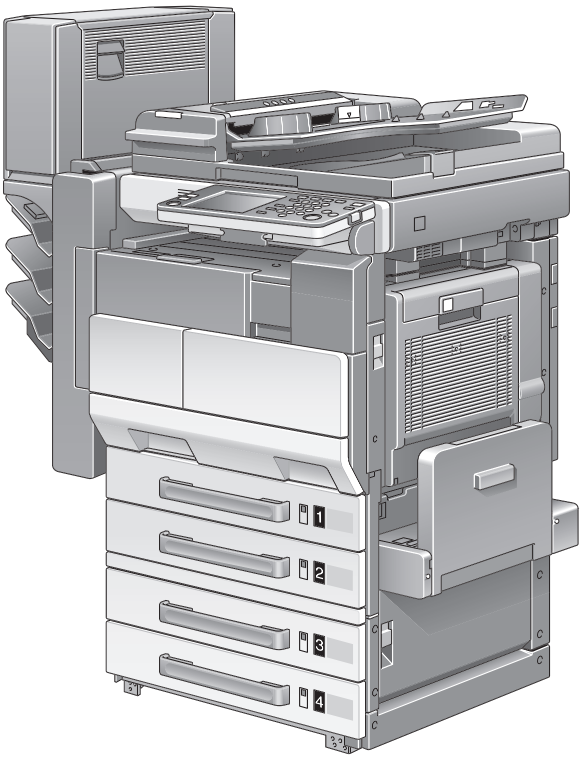
The essentials of imaging

bizhub 200/250/350

ユーザーズガイド　SIPファクス機能編



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub 200/250/350 のオプションの SIP ファクス機能を使用するために必要な操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこのユーザーズガイドを最後までお読みください。お読みになったあとは必ずユーザーズガイドホルダーに入れて保管してください。ご使用中わからないことや、不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

■ エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号　第 05 117 011 号

bizhub 200/250/350 は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

■ エコマーク Version2.0 とは？

環境省の指導のもとに環境にやさしい社会の実現に向けて、財団法人日本環境協会が 2005 年 8 月 1 日（Version2.0）に制定した規準です。「製品の製造、使用、廃棄等による環境への負荷が相対的に少ない商品」、また、「この製品を利用することにより、環境への負荷を極力抑えることができる商品」に認定されます。

■ 両面コピー機能について

両面コピー機能とは、1 枚の用紙を自動的に反転させ、用紙のオモテ面／ウラ面の両面にコピーする機能です。

本機は、両面コピー機能が設定可能です。

■ 商標、著作権等について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Netscape Communications、Netscape Communications ロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicator および Netscape は、Netscape Communications Corporation の商標です。
- Compact-VJE
  Copyright 1986-2003 VACS Corp.
- RC4® is a registered trademark or trademark of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.
- RSA® BSAFE™
  RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

ライセンス情報
本製品は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

OpenSSL Statement

- OpenSSL License

Copyright © 1998-2000 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”

4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact opensslcore@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@crypt-Soft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

- Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.

The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young’s, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@crypt-soft.com)”
   The word ‘cryptographic’ can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related.

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   “This product includes software written by Tin Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

- その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

本書に記載されている設計および関連資料などの情報、装置に内蔵されているソフトウェアおよび CD-ROM に添付されているソフトウェアは、すべて日本電気株式会社、NEC アクセステクニカ株式会社および個々のライセンス保有者の貴重な資産です。

日本電気株式会社、NEC アクセステクニカ株式会社およびライセンス保持者は、本書の設計、製造、複写から、使用、販売権に至るまで本書に関する全ての特権、著作権、およびその他の所有権を保有します。ただし、書面により上記の権利を他社へ譲渡することを認可した場合は、この限りではありません。

信乃助は、コムユース株式会社の登録商標です。

もくじ

本書について

本書は、bizhub 200/250/350 の SIP ファクス機能に関するユーザーズガイドです。

ここでは、本書の構成や製品名などの表記について説明します。

本書はコンピュータの基本操作、および本機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。Windows または Macintosh の各オペレーティングシステムの操作方法や、アプリケーションの操作方法は、それぞれの操作説明書をごらんください。

■ 本書の構成

本書は、以下の章から構成されています。

第 1 章　ご使用いただく前に

第 2 章　送信する

第 3 章　受信する

第 4 章　困ったときは

第 5 章　仕様

第 6 章　登録／設定する

第 7 章　PageScope Web Connection を使って設定する

第 8 章　保守設定

第 9 章　付録

■ 表記について

製品名	本書の表記
bizhub 200/250/350	本機、デバイス、200/250/350
内蔵ネットワークコントローラ	プリンタコントローラ
Microsoft Windows 98	Windows 98
Microsoft Windows Me	Windows Me
Microsoft Windows NT 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft Windows 2000	Windows 2000
Microsoft Windows XP	Windows XP
上記 OS を組み合わせて併記する場合	Windows 98/Me Windows NT 4.0/2000/XP Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP

■ 使用している画像

本書で使用しているタッチパネルやコンピュータ画面は原則としてオプションの FAX キットとスキャナユニットのみを装着した状態の画像です。

■ 機能使用上のご注意

- インターネット／イントラネットを使った通信は秘匿性が低いので、重要な書類は一般加入回線での送信をおすすめします。
- LAN 経由での電話は使用できません。
- インターネット／イントラネットの回線の混み具合によっては、送信まで時間がかかることがあります。
- 原稿枚数やイメージデータ量が多い場合、経由するメールサーバによっては送信できないことがあります。

■ 使用できない機能

以下の機能は、一般電話回線を使用した通常のファクス通信では使用できますが SIP ファクス機能は使用できません。

- ポスト送信
- ポーリング受信
- ポーリング送信
- クイック送信
- パスワード送信
- リモートコピー
- 親展ボックス
- 掲示板登録
- オンフック
- 掲示板リモート取出し
- 縮小禁止

ひとこと

パスワード送信、リモートコピーについてはオペレーションで指定できますが機能しません。

以下の機能は使用できます。

- 画質指定
- 濃度指定
- 原稿サイズ設定
- 結果レポート
- 2in1
- 両面送信
- スタンプ（オプション）
- 優先送信
- 送信時刻指定
- 発信元記録
- 回転送信

ページの見かた

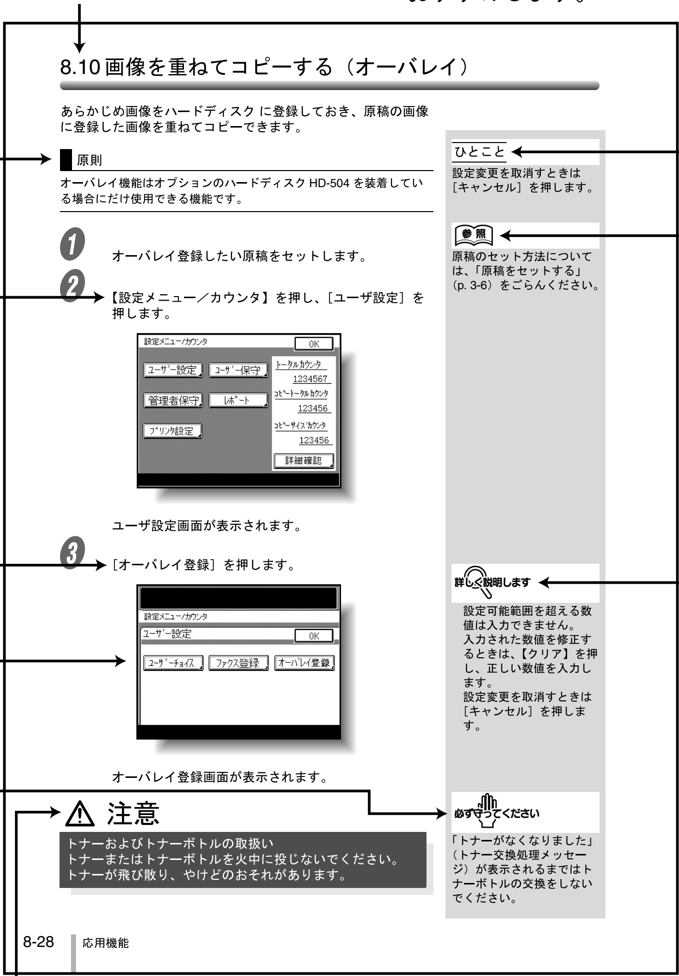
原則

機能を使用するときに必要な
オプションを説明しています。

ひとこと

作業手順や内容に関して、
参考となることや補足事項
などが書かれています。
お読みになることを
おすすめします。

項目タイトルの概要を
説明しています。



8.10 画像を重ねてコピーする（オーバレイ）

あらかじめ画像をハードディスク に登録しておき、原稿の画像
に登録した画像を重ねてコピーできます。

原則

オーバレイ機能はオプションのハードディスク HD-504 を装着してい
る場合にだけ使用できる機能です。

1 オーバレイ登録したい原稿をセットします。

2 【設定メニュー／カウンタ】を押し、［ユーザ設定］を
押します。

ユーザ設定画面が表示されます。

3 ［オーバレイ登録］を押します。

オーバレイ登録画面が表示されます。

注意

トナーおよびトナーボトルの取扱い
トナーまたはトナーボトルを火中に投じないでください。
トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

ひとこと

設定変更を取消すときは
［キャンセル］を押します。

参照

原稿のセット方法について
は、「原稿をセットする」
（p. 3-6）をごらんください。

詳しく説明します

設定可能範囲を超える数
値は入力できません。
入力された数値を修正す
るときは、【クリア】を押
し、正しい数値を入力し
ます。
設定変更を取消すときは
［キャンセル］を押しま
す。

必ず守ってください

「トナーがなくなりました」
（トナー交換処理メッセー
ジ）が表示されるまではト
ナーボトルの交換をしない
でください。

8-28 応用機能

【　　】

操作パネル（タッチ
パネルを除く）のキー
名称、電源スイッチ
などを示します。

［　　］

タッチパネル上の
キー名称を示します。

操作の結果をタッチ
パネルで確認します。

必ず守ってください

操作上の注意事項です。
指示内容をよく読んで、
必ず行ってください。

警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項
です。警告は、表示を無視して誤った取扱いを
すると、人が死亡または重症を負う可能性が想定
される内容を示しています。注意は、表示を無視
して誤った取扱いをすると、人が傷害を追う可能性
または物的損害を負う可能性が想定される内容を
示しています。

（このページは実際には存在しません。）

詳しく説明します

操作手順や内容に関して、
さらに詳しく説明しています。

参照

参照先を指示します。
必要に応じてごらんください。

マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー機能編）

基本操作、コピー機能の操作について記載しています。

- 設置・取扱の注意事項、電源の入れ方／切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたなど、本機の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナ機能編）

標準装備のネットワークの設定方法、スキャナ機能の操作について記載しています。

- ネットワーク機能、Scan to E-Mail、Scan to FTP、Scan to SMB、インターネットファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ボックス機能の操作について記載しています。

- 確認プリント、機密プリントのほか、オプションのハードディスクを利用したボックスへのドキュメント保存、ネット配信など機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（SIP ファクス機能編）＜本書＞

SIP ファクス機能の操作について記載しています。

- FAX キットを装着した場合の SIP ファクス機能の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（プリンタ機能編）

標準装着のプリンタコントローラで設定できるプリント機能について記載しています。

- プリンタ機能の使い方を知りたい場合は、User Software CD-ROM 内のユーザーズガイド（PDF データ）をごらんください。

■ クイックガイド（プリンタ機能編）

標準装着のプリンタコントローラで設定できるプリント機能について記載しています。

- プリンタ機能の基本的な使い方を知りたい場合は、このクイックガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（拡張スキャナ機能編）

オプションのスキャナユニット装着時に使用できる機能の操作について記載しています。

- IP アドレス FAX、IP 中継、Scan to PC、らくらくスキャナの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）

ファクシミリ機能の操作について記載しています。

- FAX キットを接続した場合のファクシミリ機能の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

第 1 章
ご使用いただく前に

1.1 操作の前に

- SIP ファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- SIP ファクス機能を使用するには､本機に FAX キットおよびスキャナユニットを装着する必要があります（ただし、増設回線は使用できません）。
- SIP ファクス送信をするには、オプションの SIP-FAX アダプタが必要です。

参照

SIP-FAX アダプタの接続方法と設定については、SIP-FAX アダプタに添付の取扱説明書を参照してください。

- SIP-FAX アダプタを使用してファクス通信を行う場合は、以下の機能は使用できません。
  外付け電話機
  ハンドセットでの通話
  ファクシミリ通信網
  ナンバーディスプレイ
  ダイアルイン

1.2 概要

■ SIP ファクス

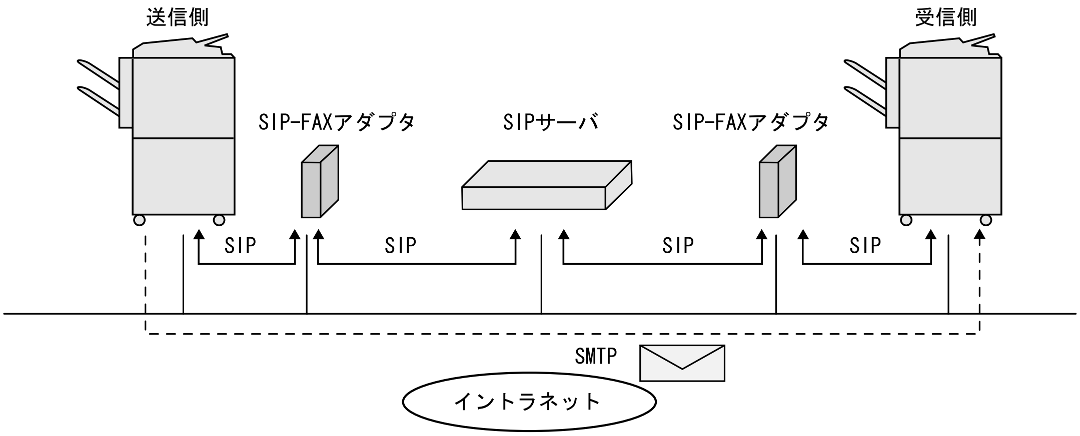
SIP ファクスとは、IP ネットワーク上で通信可能なファクスです。

相手先の SIP ファクス番号を指定して送信します。

SIP ファクスでは、SIP(Session Initiation Protocol) を用いて相手先とセッションを確立し、ピアツーピア通信を行います。

原則

SIP ファクスを使用するには、SIP サーバ、SIP-FAX アダプタが必要です。
送受信プロトコルには SMTP を使用します。
イントラネット内でのみ使用可能です。
インターネットファクスのようにメールサーバは必要ありません。



送信の流れ

1. 相手先のSIPファクス番号を指定して送信指示する。 ］SIP
2. SIPサーバ/SIP-FAXアダプタを使用して、アドレス解決（ファクス番号→IPアドレス）と、相手先とのセッション確立を行う。 ］SIP
3. 文書を送信する。 ＝ SMTP
4. セッションを切断する。 ＝ SIP

■ FAX over IP 通信

相手先のファクス番号を指定して、G3 ファクス機へ送信することができます。

- 指定したファクス番号にダイアル発信が行われると、SIP-FAX アダプタが FAX over IP 送信と識別します。
- FAX over I P 番号で着信すると、SIP-FAX アダプタが FAX over IP 受信と識別します。
- 特番を付加した場合に、FAX over IP 送信を行うようにすることもできます。

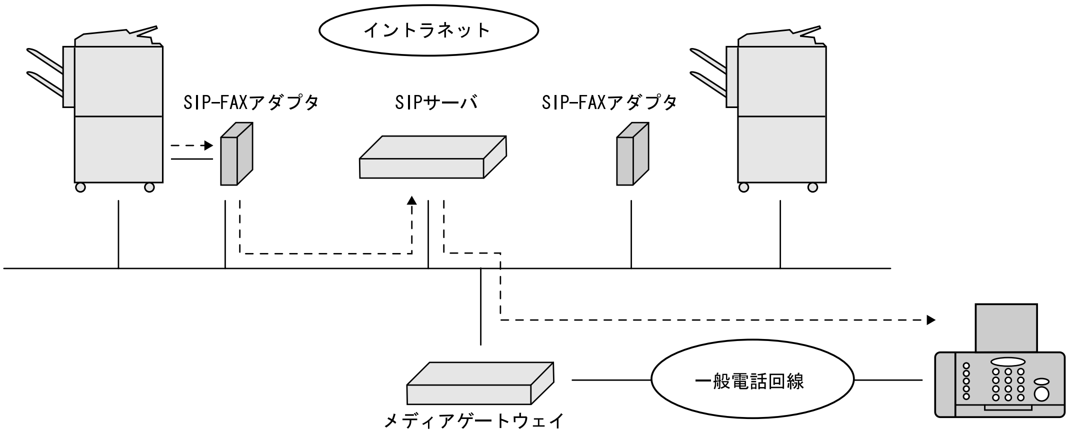
原則

FAX over IP 通信を使用する場合は、ナンバーディスプレイ、ダイアルイン機能は使用できません。

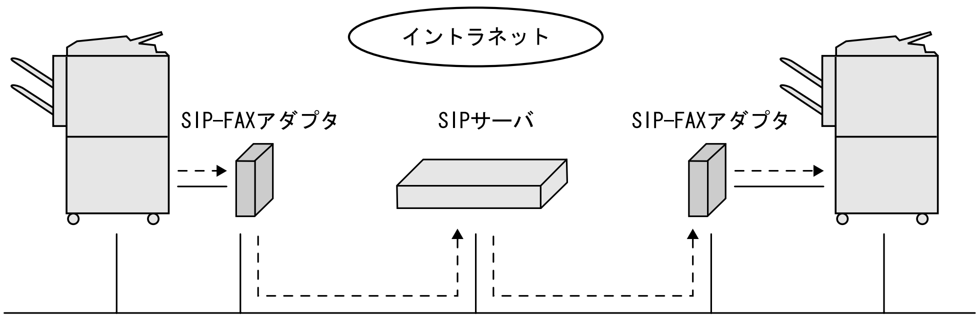
参照

- 特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。
- G3 ファクス機能については、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。

- 外線の場合



- 内線の場合



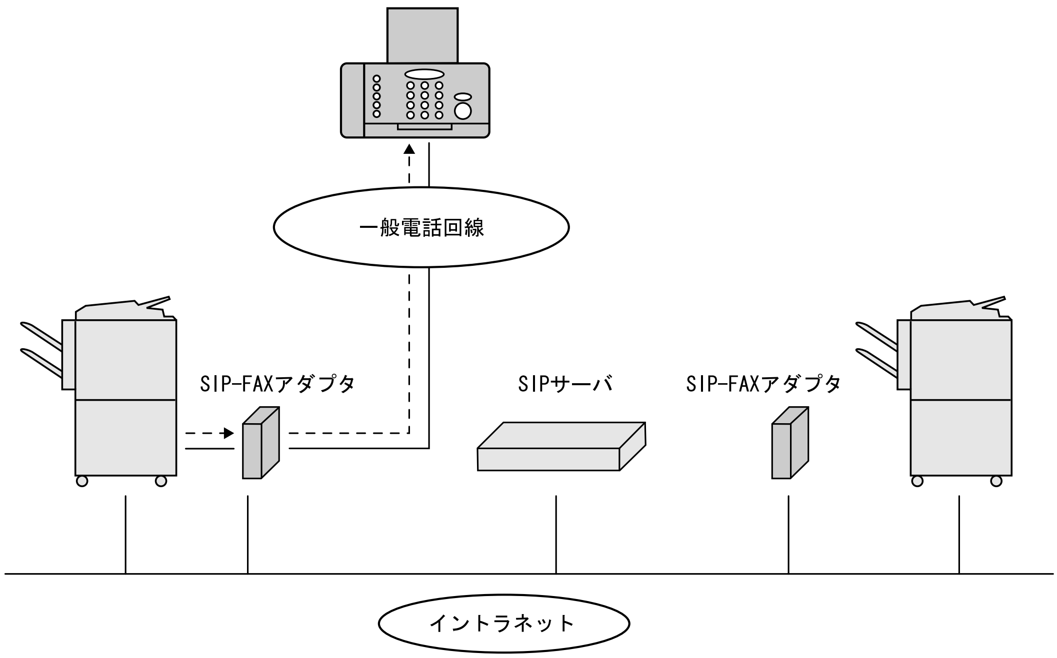
■ G3 ファクス

相手先のファクス番号に特番（0009）を付加することで、G3 ファクス機へ送信することができます。

- 「“特番 (0009)” - “ファクス番号”」にダイアル発信が行われると、SIP-FAX アダプタが G3 ファクス送信と識別します。
- G3 ファクス番号で着信すると、SIP-FAX アダプタが G3 ファクス受信と識別します。
- G3 ファクス送信時に特番を付加しないようにすることもできます。

参照

- 特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。
- G3 ファクス機能については、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。



1.3 SIP-FAX アダプタの接続

SIP ファクス通信を行うには、本機に SIP-FAX アダプタを接続する必要があります。
本機と SIP-FAX アダプタの接続には、LAN ケーブル（Fast Ethernet 100BASE-TX 用ケーブル）と電話機コードを使用します。

■ 接続のしかた

図のように本機と SIP-FAX アダプタの各ケーブルを接続します。

1. LAN ケーブルのコネクタを本機のネットワーク用ポートに接続し、もう一方をハブに接続します。

2. LAN ケーブルのコネクタを SIP-FAX アダプタ背面の LAN ポートに接続し、もう一方をハブに接続します。

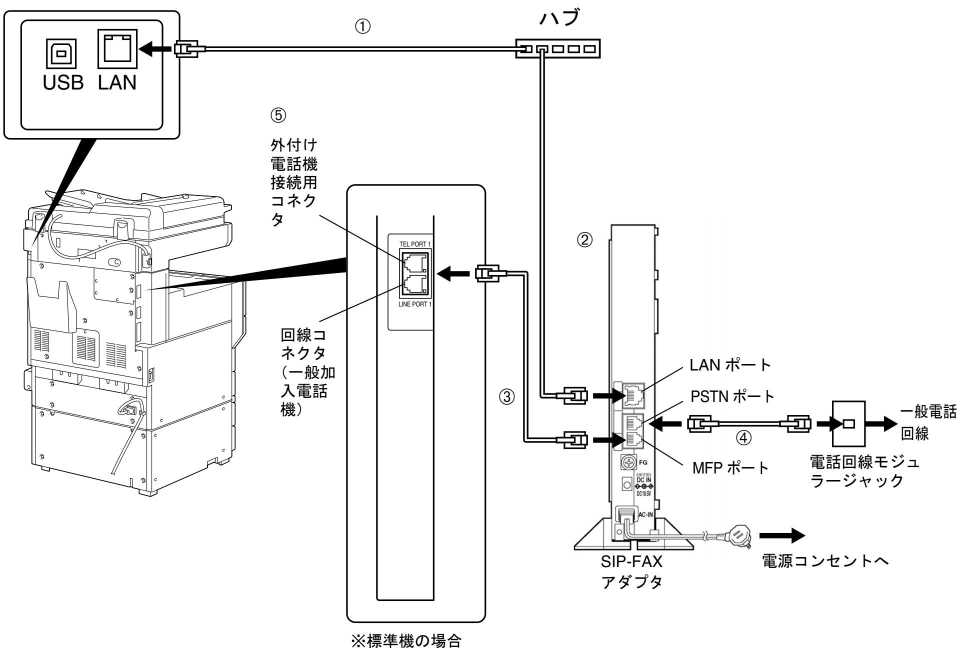
3. 電話機コードのコネクタを本機のポート 1 回線コネクタ（LINE PORT1）に接続し、もう一方を SIP-FAX アダプタ背面の MFP ポートに接続します。

4. 電話機コードのコネクタを SIP-FAX アダプタ背面の PSTN ポートに接続し、もう一方を電話回線モジュラージャックに接続します。

5. 本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL PORT1）に、SIP-FAX アダプタに添付されている TEL 端子用カバーを取り付けます。

参照

SIP-FAX アダプタの接続方法と設定のしかたについては、SIP-FAX アダプタの取扱説明書を参照してください。



ひとこと

- LAN ケーブルは、Fast Ethernet 100BASE-TX 用（Category5）のケーブルを使用してください。
- LAN ケーブルは、本機の添付品に含まれていません。
- アース線を接続してください。
- SIP-FAX アダプタには、LAN ケーブル、電話機コードおよびアース線が各 1 本添付されています。
- G3 マルチポート装着機に 2 台の SIP-FAX アダプタを接続して使用することはできません。1 回線のみ使用できます。
- G3 マルチポート装着機の場合は、ソフトウェア DIPSW のモード 006 ビット 1 を 0（ポートの自動選択禁止）に設定してください。
- SIP-FAX アダプタを使用してファクス通信を行う場合は、ハンドセット（オプション）を使用できません。

参照

ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。

1.4 はじめに設定してください

SIP ファクス機能を使うために、本機で次の項目を設定します。

また、SIP-FAX アダプタの設定を行う必要があります。

本機の IP アドレス、本機との通信用ポート番号を、SIP-FAX アダプタに設定する必要があります。

■ 設定が必要な項目

- ネットワーク設定
  - SIP ファクス設定
    使う／使わない *
    SIP アダプタアドレス（SIP-FAX アダプタの IP アドレスまたはホスト名）
    ポート番号（SIP-FAX アダプタとの通信用ポート番号）
  - IP アドレス設定
  - サブネットマスク

詳しく説明します

SIP ファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

必ず守ってください

- 詳しくは、「第 8 章 保守設定」をごらんください。
- SIP-FAX アダプタの設定については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

第 2 章
送信する

SIP ファクス送信の操作について説明します。

2.1 ワンタッチを指定して送信する

ワンタッチに相手先の SIP ファクス番号を登録し、ワンタッチを押して送信できます。また、送信時の機能を追加してファクスプログラムを登録することもできます。

ワンタッチおよびファクスプログラムの登録方法については、「第 6 章 登録／設定する」をごらんください。

■ ワンタッチの選択方法

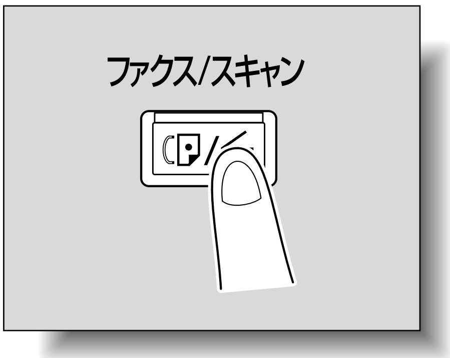
ワンタッチを選択するには、以下の方法があります。登録件数や使い方に合わせて利用してください。

- ワンタッチを直接押す
- ワンタッチ番号を入力する
- 読み仮名から検索する

■ ワンタッチを押して送信する

1 原稿をセットします。

2 【ファクス／スキャン】を押します。



3 ［ワンタッチ］を押します。

ひとこと

- メモリ内にたくさんの原稿が蓄積されているとき（メモリ使用量が 0% に近いとき）は、送信できない場合があります。この場合は、メモリが空くのを待ってください。
- 相手先に送信できなかったときは、もう一度送信できるように文書がメモリ内に残ります。これを消去してメモリを空けることもできます。相手先に送信できなかったジョブの確認について詳しくは、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。
- メモリ予約は、最大 200 文書までです。すでに 200 文書予約されているときや、メモリがいっぱいのときは予約できません。

ひとこと

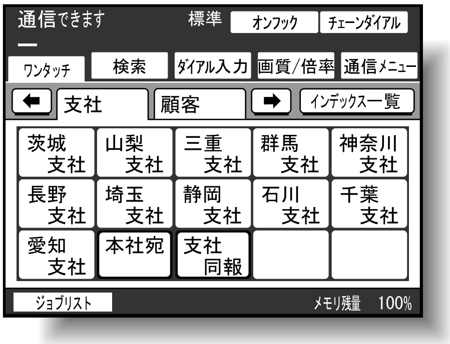
【ファクス／スキャン】を押した後に表示される画面をユーザチョイスの「優先画面」で設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

2

4

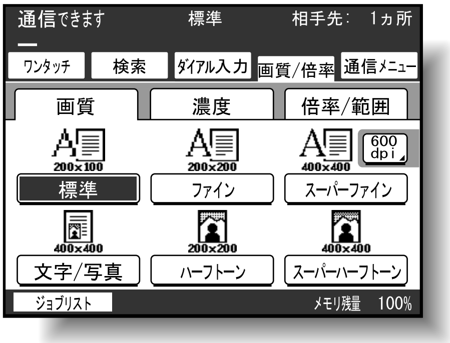
相手先のインデックスを選択し、ワンタッチを押します。

❍ ワンタッチは一度の送信で複数の相手先を指定できます。一度に指定できる相手先は最大 300 箇所です。



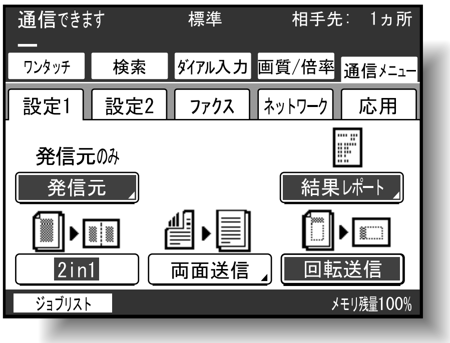
5

送信する原稿に合わせて、[画質 / 倍率] の内容を設定します。



6

必要に応じて [通信メニュー] の内容を設定します。



7

【スタート】を押します。

ひとこと

- インデックスを選択するときは、インデックスを押すか、[←] [→] を押して切替えます。
- ソフトウェア DIPSW で同報送信が禁止されている場合、複数の相手先への送信はできません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 8-7) をごらんください。

参照

詳しくは、「スキャン時の画質・倍率を設定する」(p. 2-13) をごらんください。

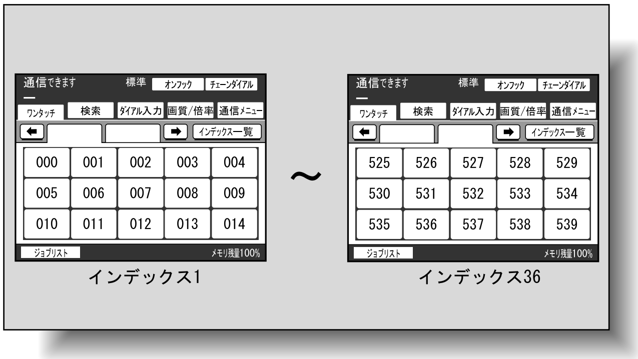
参照

詳しくは、「さらに機能を追加する」(p. 2-16) をごらんください。

■ ワンタッチ番号を入力する

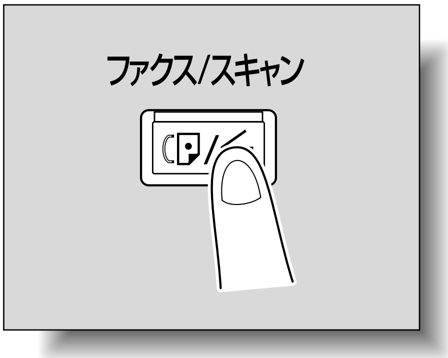
ワンタッチには、図のようにそれぞれワンタッチ番号が割り当てられています。

ワンタッチを押すかわりに、ワンタッチ番号を直接指定することですばやく相手先を選択できます。

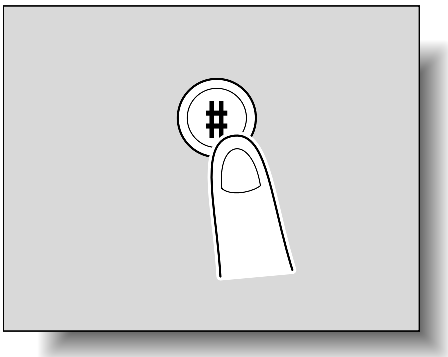


1 原稿をセットします。

2 【ファクス／スキャン】を押します。



3 操作パネルの【＃】を押します。



4

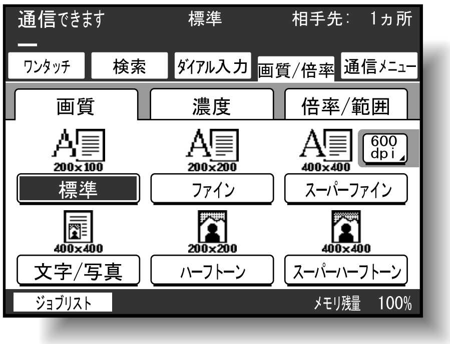
テンキーでワンタッチ番号を入力します。

- 入力したワンタッチが反転表示されます。
- ワンタッチは一度の送信で複数の相手先を指定できます。一度に指定できる相手先は最大 300 箇所です。



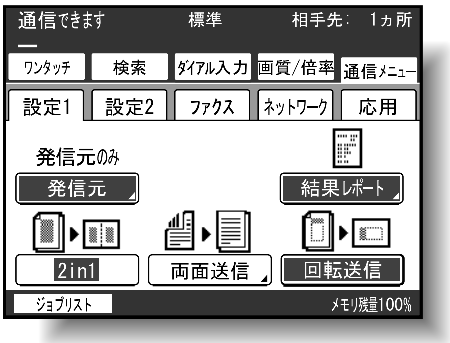
5

送信する原稿に合わせて、［画質 / 倍率］の内容を設定します。



6

必要に応じて［通信メニュー］の内容を設定します。



7

【スタート】を押します。

ひとこと

ソフトウェア DIPSW で同報送信が禁止されている場合、複数の相手先への送信はできません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。

参照

詳しくは、「スキャン時の画質・倍率を設定する」（p. 2-13）をごらんください。

参照

詳しくは、「さらに機能を追加する」（p. 2-16）をごらんください。

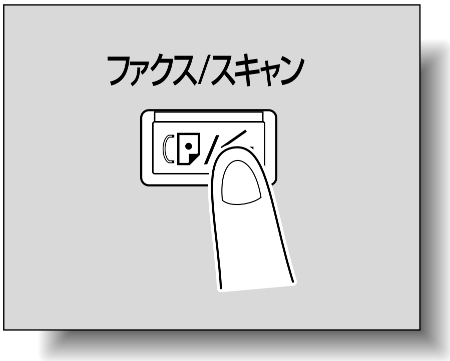
2

■ ワンタッチを検索する

ワンタッチを指定するとき、登録時の読み仮名からワンタッチの名称を検索できます。

1 原稿をセットします。

2 【ファクス／スキャン】を押します。



3 ［検索］を押します。

4 読み仮名を入力し、［検索］を押します。

入力した読み仮名から始まるワンタッチが表示されます。



ひとこと

ワンタッチの登録時に読み仮名を入力していないワンタッチは検索できません。

ひとこと

LDAP 検索が可能な場合は［LDAP 検索］を押して、さらに検索を行うこともできます。

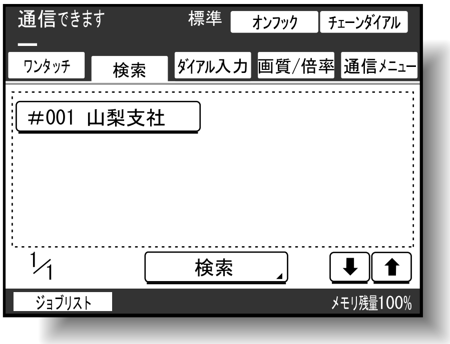
ひとこと

読み仮名は半角カタカナで入力します。

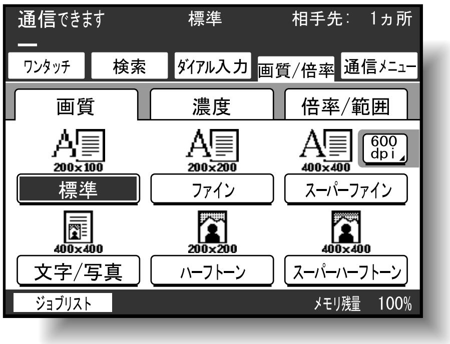
2

5 相手先にするワンタッチを押して選択します。

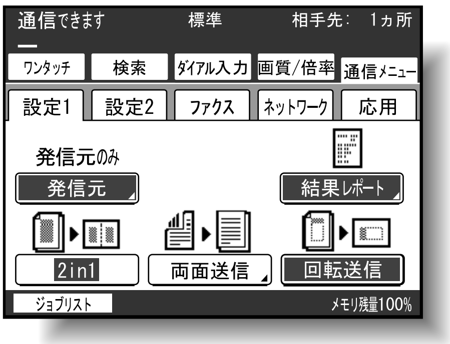
❍ ワンタッチは一度の送信で複数の相手先を指定できます。一度に指定できる相手先は最大 300 箇所です。



6 送信する原稿に合わせて、[画質 / 倍率] の内容を設定します。



7 必要に応じて [通信メニュー] の内容を設定します。



8 【スタート】を押します。

ひとこと

ソフトウェア DIPSW で同報送信が禁止されている場合、複数の相手先への送信はできません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。

参照

詳しくは、「スキャン時の画質・倍率を設定する」（p. 2-13）をごらんください。

参照

詳しくは、「さらに機能を追加する」（p. 2-16）をごらんください。

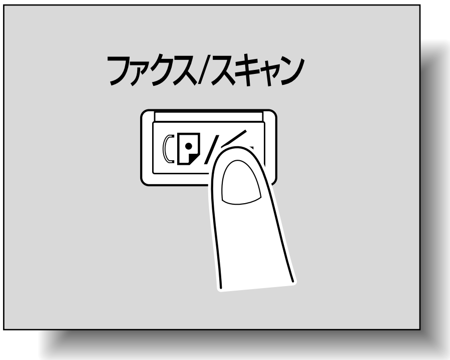
2.2 SIP ファクス番号を入力して送信する

■ SIP ファクスの場合

ワンタッチに登録されていない相手先を直接入力して指定できます。

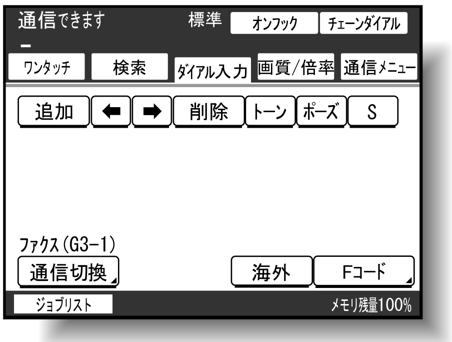
1 原稿をセットします。

2 【ファクス／スキャン】を押します。



3 ［ダイアル入力］を押します。

4 通信モードを選択します。［通信切換］を押します。

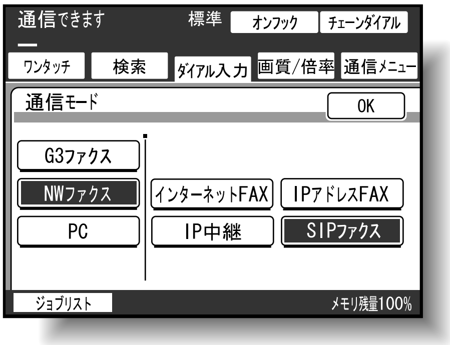


ひとこと

- ソフトウェア DIPSW でダイアル入力による指定が制限されている場合、ダイアル入力して送信できません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。
- メモリ内にたくさんの原稿が蓄積されているとき（メモリ使用量が 0% に近いとき）は、送信できない場合があります。この場合は、メモリが空くのを待ってください。
- 相手先に送信できなかったときは、もう一度送信できるように文書がメモリ内に残ります。これを消去してメモリを空けることもできます。相手先に送信できなかったジョブの確認について詳しくは、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。
- メモリ予約は、最大 200 文書までです。すでに 200 文書予約されているときや、メモリがいっぱいのときは予約できません。

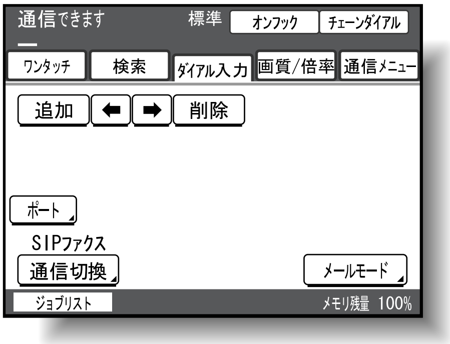
2

5 ［NW ファクス］、［SIP ファクス］の順に選択し、［OK］を押します。



6 相手先の機器の SIP ファクス番号を入力します。

❍ 複数の相手先を指定する場合は、［追加］を押してから次の SIP ファクス番号を入力します。



ひとこと

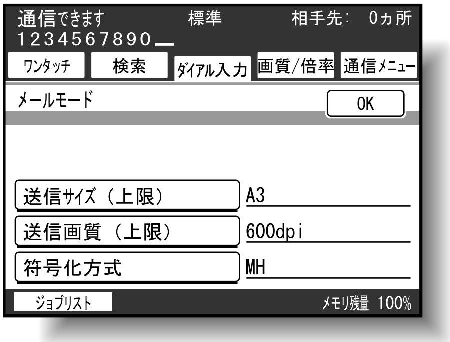
- SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないようにご入力ください。
- 入力する番号を間違えたときは、【C】を押して入力しなおしてください。
- ［SIP ファクス］を指定した場合は、［ポーズ］は使用できません。
- ソフトウェア DIPSW で同報送信が禁止されている場合、複数の相手先への送信はできません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。

7

送信サイズの上限や符号化方式などを選択するときは、［メールモード］を押します。

❍ 設定できる内容は以下のとおりです。設定したら［OK］を押します。

項目	説明
送信サイズ（上限）	受信側のサポートしている原稿サイズの上限を A4/B4/A3 から選択します。
送信画質（上限）	受信側のサポートしている画質の上限を 200/400/600 dpi から選択します。 200 dpi はファイン、ハーフトーン、400 dpi はスーパーファイン、スーパーハーフトーンまで許可となります。
符号化方式	受信側に適した符号化方式を MH/MR/MMR から選択します。 符号化データ量は、画像データに依存しますが、一般的には、MMR < MR < MH の順で多くなります。



ひとこと

- SIP ファクスでは、相手の装置がサポートしていない送信サイズ、画質および符号化方式を使用して送信した場合、受信側で受信データを見ることができない場合などがあります。上限値を正しく設定していると、送信の際に、相手の装置がサポートしていない能力を指定しても、あらかじめ設定した上限の指定で送信されます。
- メールモードは、ネットワーク設定の「優先圧縮レベル」で初期値を設定します。各送信操作で設定を変更したいときは、通信ごとに設定することができます。優先圧縮レベルについて詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
- ［画質 / 倍率］－［倍率 / 範囲］－［倍率］の設定で、［自動倍率］または［縮小禁止］を選択しても、［送信サイズ（上限）］で設定した原稿サイズが、受信側で受信可能範囲であれば等倍で送信されます。
- 画像データ量が多くなると、ネットワークに対する負荷が大きくなります。また、ネットワーク環境によっては通信ができない場合があります。

2

8

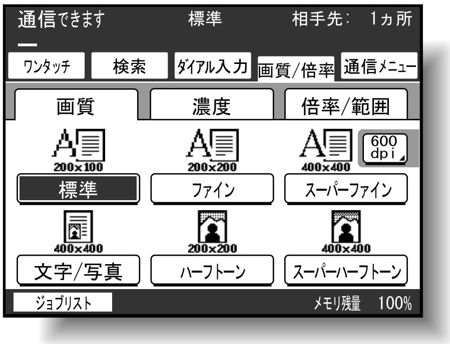
ポート番号を変更するときは、［ポート］を押します。

- ポート番号を変更するときは【C】を押してテンキーでポート番号を入力し、［OK］を押します。
- 出荷時の設定に戻すときは［標準に戻す］を押します。



9

送信する原稿に合わせて、［画質 / 倍率］の内容を設定します。

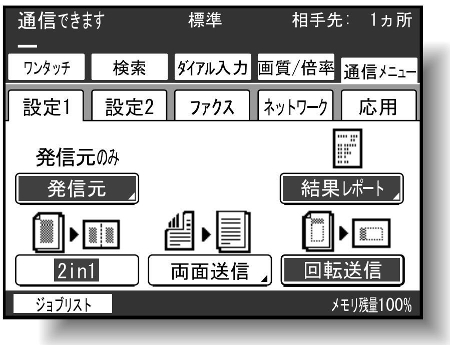


参照

詳しくは、「スキャン時の画質・倍率を設定する」（p. 2-13）をごらんください。

10

必要に応じて［通信メニュー］の内容を設定します。



参照

詳しくは、「さらに機能を追加する」（p. 2-16）をごらんください。

11

【スタート】を押します。

■ FAX over IP 送信 /G3 ファクスの場合

以下のように宛先を指定します。

その他の機能については、通常の G3 ファクスと同じです。

FAX over IP 送信の場合：

- 通信モードを「G3」に設定し、相手先のファクス番号をダイアルすることで、相手装置（SIP-FAX アダプタ付き MFP 装置）に送信することができます。
- 送信のしかたは、一般電話回線を使用したファクス送信と同じです。
ファクス送信の操作方法は、装置本体取扱説明書を参照してください。

SIP-FAX アダプタを経由した G3 ファクス送信の場合：

- 通信モードを「G3」に設定し、相手先のファクス番号に特番（0009）を付加してダイアルすることで、一般電話回線を経由して相手装置（G3 FAX 装置）に送信することができます。
G3 FAX 通信を行う場合は、「0009-XXXX（相手先ファクス番号）」とダイアルします。
その他の操作方法は、一般電話回線を使用したファクス送信と同じです。

参照

G3 ファクスの機能や操作方法について詳しくは、ユーザーズガイド ファクシミリ機能編をごらんください。

参照

- 左記の宛先指定方法は、SIP-FAX アダプタの特番設定が初期値の場合です。
- 特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

2.3 スキャン時の画質・倍率を設定する

2

操作パネルの【ファクス／スキャン】を押したときに表示される［画質 / 倍率］を押すと、スキャンする画質や倍率の設定ができます。

■ 画質

スキャン時の解像度（細かさ）を選択します。原稿の内容に合わせて、以下の解像度から選択できます。

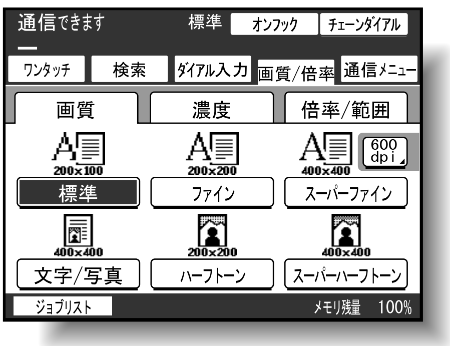
項目	説明
標準	手書きなど普通の文字の原稿
ファイン スーパーファイン 600 dpi 文字	新聞など小さい文字の原稿や、精密図など細かい原稿
文字／写真 600 dpi 文字／写真	写真など、濃淡のある画像と文字が混在している原稿
ハーフトーン スーパーハーフトーン 600 dpi 写真	写真など濃淡のある原稿

1 ［画質 / 倍率］を押します。



2 ［画質］を押し、目的の画質を選択します。

❍ より高い解像度を選択するときは［600 dpi］を押します。



ひとこと

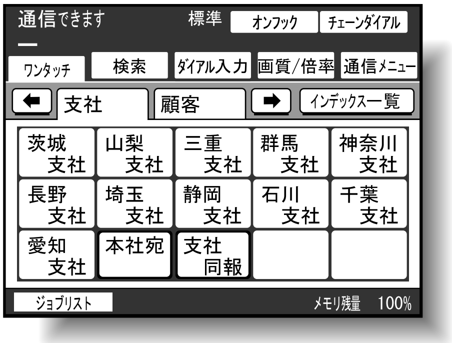
- 送信時に原稿の内容に合わせて希望の画質を指定することができます。指定した画質は、メールモードで設定した送信画質の上限を超えない場合は有効です。メールモードで設定した「送信画質（上限）」を超える指定をした場合は、「送信画質（上限）」の設定が有効となります。メールモードについて詳しくは、「SIP ファクス番号を入力して送信する」（p. 2-8）をごらんください。
- 文字／写真で送信した場合原稿によっては写真の部分に縞模様が発生することがあります。縞模様が気になる場合はハーフトーンまたはスーパーハーフトーンで送信してください。
- 設定した内容は、送信が終了するともとの状態に戻ります。
- きれいな画像を送信するために高い解像度を選択すると、送付する画像データの容量が大きくなり、プロバイダやサーバによってはデータを送信できないことがあります。事前に送信できるデータの容量制限を確認してください。

■ 濃度

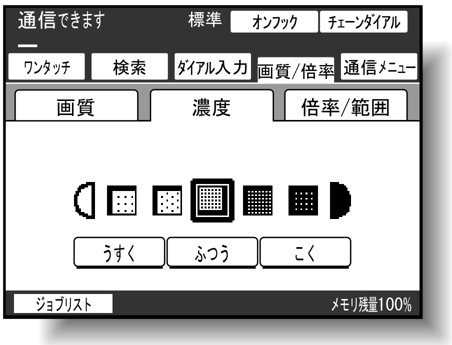
原稿の内容に合わせて、以下の解像度から選択できます。

項目	説明
うすく	新聞や青焼きなど、原稿の地色が濃いとき
↑	
ふつう	通常の原稿のとき
↓	
こく	文字が薄いときや、文字に色がついているとき

1 ［画質 / 倍率］を押します。



2 ［濃度］を押し、目的の濃さを選択します。



ひとこと

設定した内容は、送信が終了するともとの状態に戻ります。

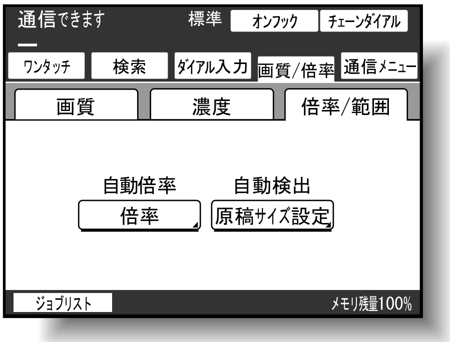
■ 原稿サイズ設定

スキャンするときの読込み範囲を規格サイズで指定できます。大きな原稿の一部だけを送信したり、定形サイズでない原稿を定形サイズとして送信できます。

1 ［画質 / 倍率］を押します。

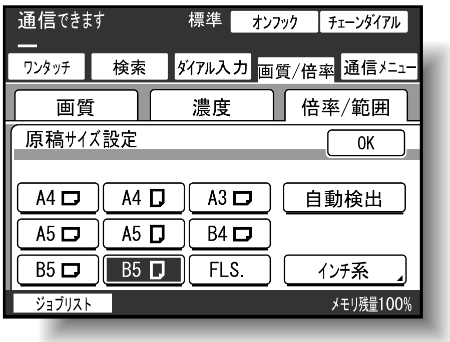


2 ［倍率 / 範囲］を押し、［原稿サイズ設定］を押します。



3 読込み範囲となるサイズを選択し、［OK］を押します。

- ［自動検出］を押すと原稿の大きさに合わせて自動的に近いサイズを選択します。ただし、A4 サイズよりも小さいサイズの場合は A4 が選択されます。



ひとこと

設定した内容は、送信が終了するともとの状態に戻ります。

ひとこと

［インチ系］を押すと、インチサイズで指定することができます。

2.4 さらに機能を追加する

操作パネルの【ファクス／スキャン】を押したときに表示される［通信メニュー］を押すと、さらに以下の機能を追加できます。

項目		説明
設定 1	発信元	出力する用紙の先端にこちらの名前やファクス番号、アドレス、宛名などをプリントします。発信元登録については、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。相手先名はワンタッチに登録した相手先名称が印字されます。
	結果レポート	送信結果のレポートをどの条件で出力するかを選択します。 装置設定：管理者保守で設定した内容で出力します。 出力する：送信結果に関係なく出力します。 不達のとき：不達のときだけ出力します。 出力しない：送信結果に関係なく出力しません。
	2in1	2in1 機能（2 ページを縮小して 1 ページにまとめる）を使用して送信するかどうかを選択します。
	両面送信	両面送信を行うかどうかを選択します。とじ代の位置と原稿セットの方向を選択します。
	回転送信	受信する機器の用紙方向に合わせて画像を回転させるかどうかを選択します。 画質が 200 dpi 以下で A4 サイズの送信の場合に設定できます。
設定 2	優先送信	他のジョブよりも優先的に送信を行うかどうかを選択します。
	送信時刻	時刻を指定して送信できます。
	スタンプ	スキャンした原稿に、読み取りが完了したことを示すスタンプを押すことができます。原稿は ADF にセットしてください。

ひとこと

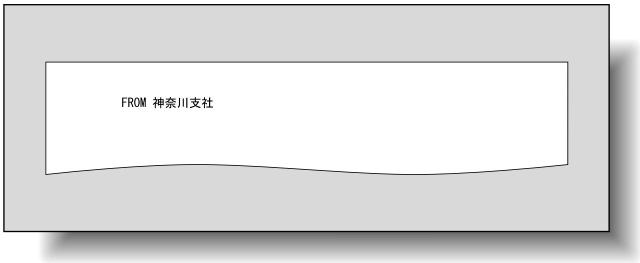
以下の項目は設定しても機能しません。
- ［ネットワーク］のタイトル
- ［ネットワーク］の Reply
- ［ネットワーク］のファイル名
- ［ネットワーク］の E-Mail 通知

ひとこと

スタンプを使用するにはオプションのファクス済みスタンプユニットが必要です。

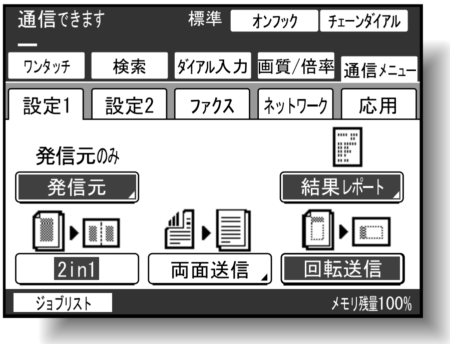
■ 発信元の設定

出力する用紙の先端にこちらの名前やファクス番号、アドレス、相手先名などをプリントします。

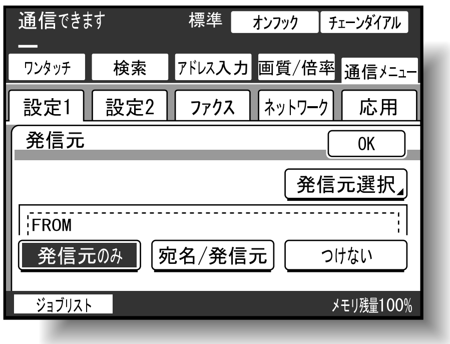


1 ［通信メニュー］を押します。

2 ［設定 1］の［発信元］を押します。



3 発信元のプリントの種類を選択し、［発信元選択］を押します。



4 発信元の名称を選択し、[OK] を押します。



5 [OK] を押します。

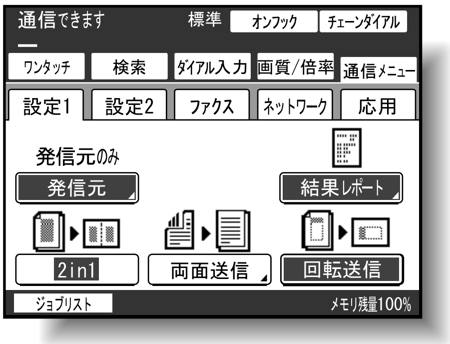
■ 結果レポートの設定

送信結果のレポート出力について設定します。

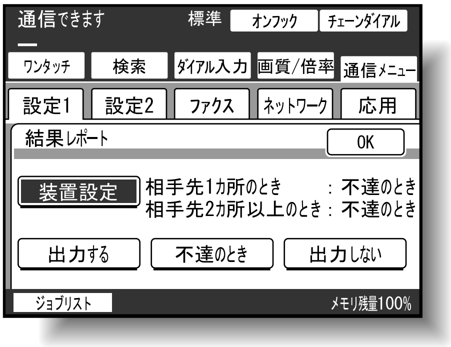
送信結果レポートの出力条件は、あらかじめ「管理者保守」の「レポート設定」で設定されています。この条件を変更したいときに選択します。

1 [通信メニュー] を押します。

2 [設定 1] の [結果レポート] を押します。



3 出力条件を設定し、[OK] を押します。

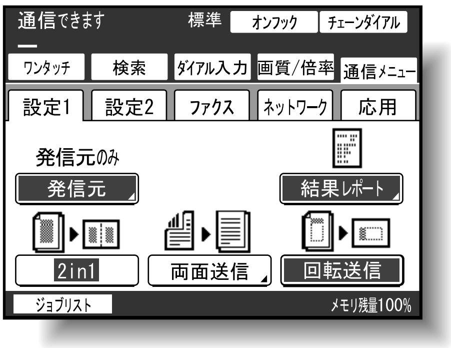


■ 2in1 の設定

1 [通信メニュー] を押します。

2 [設定 1] の [2in1] を押します。

キーが反転表示されます。



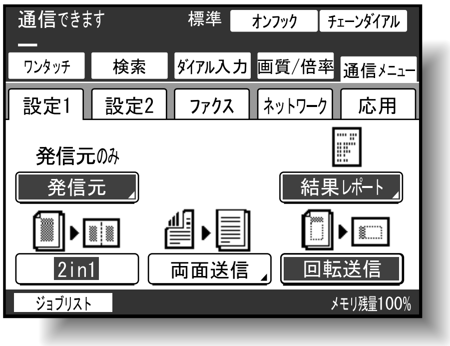
ひとこと

もう一度キーを押すと設定を解除します。

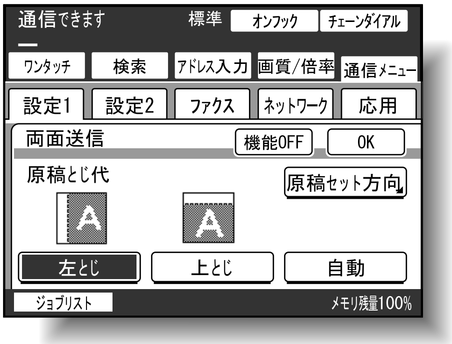
■ 両面送信の設定

1. ［通信メニュー］を押します。

2. ［設定 1］の［両面送信］を押します。



3. 原稿のとじ代を選びます。



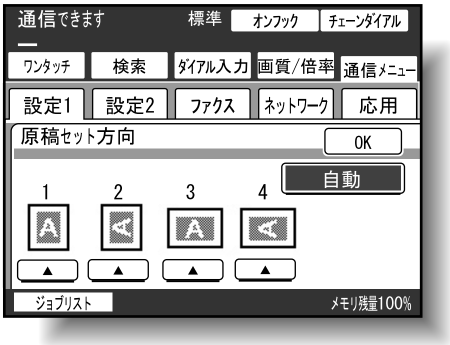
❍［左とじ］: 左とじ原稿として読込みます。
❍［上とじ］: 上とじ原稿として読込みます。
❍［自動］: 原稿の読取り方向により、とじ代を自動的に設定します。

4. ［原稿セット方向］を押します。

ひとこと

［機能 OFF］を押すと設定を解除します。

5 原稿の置きかたを選び、［OK］を押します。



- ［自動］：原稿の長辺をとじ代として自動的に設定します。

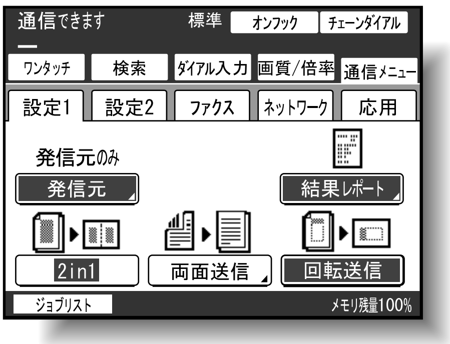
6 ［OK］を押します。

■ 回転送信の設定

1 ［通信メニュー］を押します。

2 ［設定 1］の［回転送信］を押します。

キーが反転表示されます。



ひとこと

サイズの異なる両面原稿をセットする場合は、原稿の方向を合わせてセットすることをおすすめします。方向が異なる原稿を読込むと、画像データの方向が合わなくなることがあります。

ひとこと

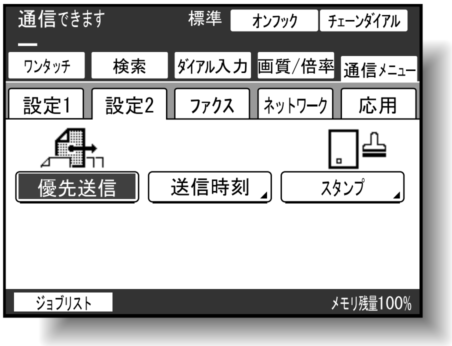
もう一度キーを押すと設定を解除します。

■ 優先送信の設定

1 ［通信メニュー］を押します。

2 ［設定 2］の［優先送信］を押します。

キーが反転表示されます。



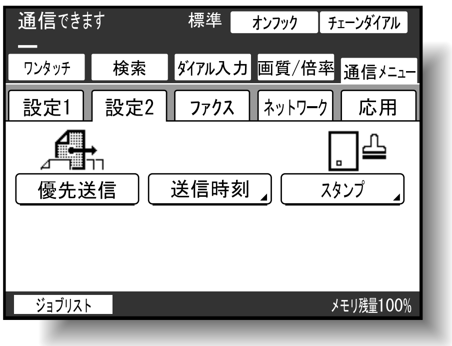
ひとこと

もう一度キーを押すと設定を解除します。

■ 送信時刻の設定

1 ［通信メニュー］を押します。

2 ［設定 2］の［送信時刻］を押します。

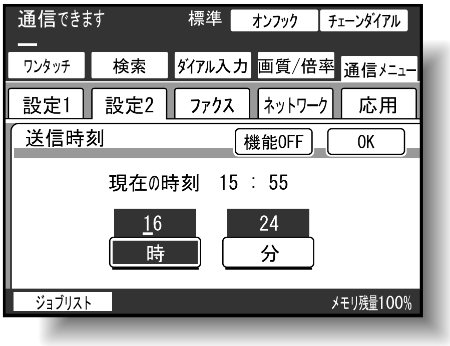


3 送信する時刻を入力します。

ひとこと

送信時刻は最大 200 文書まで設定できます。

❍［時］［分］を押し、テンキーで数値を入力します。



4　［OK］を押します。

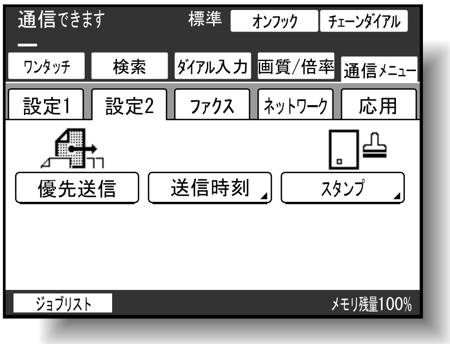
ひとこと

［機能 OFF］を押すと設定を解除します。

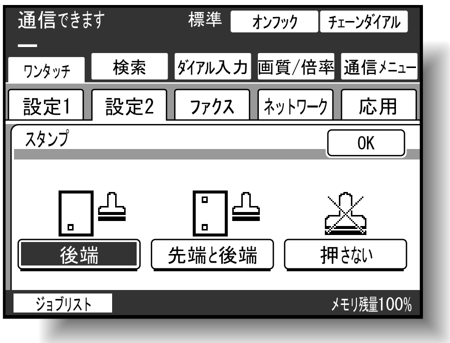
■ スタンプの設定

1　［通信メニュー］を押します。

2　［設定 2］の［スタンプ］を押します。



3　スタンプの印字位置を選択し、［OK］を押します。

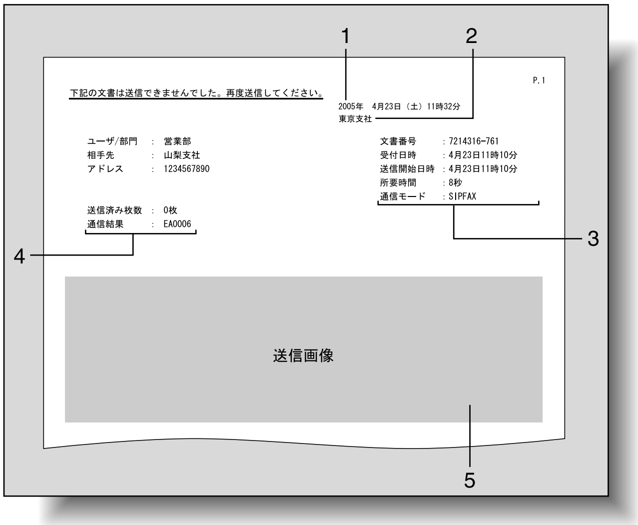


2.5 送信できなかったときは

送信できなかったときは、1 分間間隔で 5 回、自動的に送信しなおします。これをオートリトライといいます。

オートリトライ後も送信できなかったときは、結果レポートが出力されます。

■ 結果レポートの見かた



番号	項目	説明
1	レポート出力日時	レポートを出力した日時がプリントされます。
2	発信元	発信元の名称とアドレスがプリントされます。
3	送信時の情報	送信時の文書番号、所要時間、通信モードなどがプリントされます。
4	通信結果	通信結果を表示します。内容は以下のとおりです。 良好：正常に送信されました。 中断：通信が中断されました。 メモリオーバ：メモリオーバになりました。 不達：通信が不達で終了しました。 一部不達：一部の相手先が不達です。 データ量超過：処理できるデータ量を超えています。 画質不良：通信画質が不良で送信が途中で終了しました。 エラーコード：詳しくは、「エラーコードが出たとき」（p. 4-3）をごらんください。
5	送信画像	送信した画像の一部がプリントされます。

ひとこと

- オートリトライの回数と間隔は管理者保守で設定できます。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
- 結果レポート出力の設定は変更できます。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

■ 再送信する

送信できなかった文書は、最大 20 通まで送信しなおすことができます。

1. ［ジョブリスト］を押してから［通信］を押し、送信できなかった文書を選択します。
   - ❍ このとき、タッチパネルに［再送信］や［相手先変更］が表示されていれば原稿をセットしなおさなくても再送信できます。

2. 同じ相手先に送信するときは［再送信］を押します。
   - ❍ 相手先を変更して送信するときは［相手先変更］を押します。

第 3 章
受信する

3

SIP ファクス受信について説明します。

3.1 SIP ファクスを受信すると

- SIP ファクスが送られてくると、自動的に受信してプリントします。
- 受信した文書をプリントしたり、ボックスに保存したりすることができます。文書管理について詳しくは、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。

参照

SIP ファクスを受信するには、ネットワークの設定が必要です。本機の IP アドレスと SIP-FAX アダプタの SIP アダプタアドレスが未入力の場合は、受信できません。SIP ファクス設定について詳しくは、「SIP ファクス設定」（p. 8-4）をごらんください。

ひとこと

管理者保守のファクス設定による着信方式の設定は、一般電話回線を使ったファクス受信の場合にのみ有効です。SIP ファクスの受信動作には無効です。

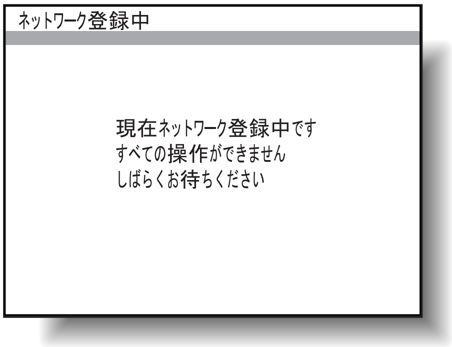
第 4 章
困ったときは

ここでは、本機に記載されている機能を使用しているときにおきる現象や対処方法について説明しています。ここに記載されていない現象が起きたときや、問題が解決しないときはサービス管理店にお問合わせください。

4.1 こんな表示が出たとき

■ こんな表示が出たとき

操作パネルに次のような画面が表示されているときは、以下のように対処してください。



ネットワーク上のパソコンから管理者が本機にログインしています。管理者が作業を終了し、ログアウトするまでお待ちください。

管理者がログアウトせずにブラウザを終了させたときは、再度管理者ログインし、ログアウトをしなおすように依頼してください。

4.2 エラーコードが出たとき

送信などでエラーが発生すると、ジョブリスト画面やレポートにエラーコードが表示されます。以下のように対処してください。

エラーコード	原因	処置のしかた
E30XXX	相手端末が使用中です。	しばらく待ってから、送信しなおしてください。
	相手端末から応答がありません。	相手先に確認してください。
	SIP-FAX アダプタから応答がありません。	・SIP-FAX アダプタが正しく接続されているか、確認してください。 ・SIP アダプタアドレスが正しく設定されているか、確認してください。
	FAX over IP での通信中に SIP ファクス通信をしようとしています。	しばらく待ってから、送信しなおしてください。
E31XXX	SIP 網への発着信が同時に行われました。	しばらく待ってから、送信しなおしてください。
E38XXX	相手先の番号が間違っています。	相手先番号を確認し、送信しなおしてください。
	SIP サーバが正常に動作していません。	SIP サーバが正常に動作しているか、ネットワーク管理者に確認してください。
	SIP-FAX アダプタの設定に誤りがあります。	SIP-FAX アダプタの設定に誤りがないか、確認してください。
E39XXX	SIP-FAX アダプタの電源が入っていません。	SIP-FAX アダプタの電源が入っているか確認してください。
	SIP-FAX アダプタが接続されていません。	・SIP-FAX アダプタが正しく接続されているか、確認してください。 ・SIP アダプタアドレスが正しく設定されているか、確認してください。
	SIP-FAX アダプタの設定に誤りがあります。	SIP-FAX アダプタの設定に誤りがないか、確認してください。
	本機の SIP ファクス設定が［使わない］になっています。	［SIP ファクス設定］を［使う］に設定してください。
EA422A	受信機に送信予約文書がたまっていて送信できません。	相手先に確認してください。

4.3 トラブルシューティング

故障かなと思ったときは、ここで説明している処理を行ってください。

こんなときは	原因	処置のしかた
SIP ファクスで送信できない	FAX over IP の番号と間違えている。	SIP ファクス番号を指定してください。
	FAX over IP モードと SIP ファクスモードを取り間違えている。	通信モードを［SIP ファクス］に設定してください。
	FAX over IP の通信中は、SIP ファクスで通信できません。	通信が終わるまで、しばらくお待ちください。
FAX over IP で送信できない	回線種別の設定が間違っている。	装置本体および SIP-FAX アダプタの回線種別の設定を確認してください。
	SIP ファクス番号と間違えている。	FAX over IP の番号を指定してください。
	SIP ファクスモードと FAX over IP を取り間違えている。	通信モードを［G3］に設定してください。
	SIP ファクスの通信中は、FAXover IP で通信できません。	通信が終わるまで、しばらくお待ちください。
G3 FAX で送信できない	回線種別の設定が間違っている。	装置本体および SIP-FAX アダプタの回線種別の設定を確認してください。
	番号が付加されていない（特番の設定をした場合）。	特番＋相手先ファクス番号を指定してください。
カラー文書を受信できない	カラー文書受信には対応していません。	—
ナンバーディスプレイに対応した機能が使えない	SIP-FAX アダプタ使用時は、ナンバーディスプレイには対応していません。	—

第 5 章
仕様

5

ここでは、製品仕様や入力文字の一覧などの情報を記載しています。

5.1　製品仕様

通信プロトコル	SIP（RFC 3261）、SMTP（IFTE RFC281 および RFC2822）手順、TCP/IP 通信
送信原稿サイズ	A4、B4、A3
解像度	200 × 100 dpi、200 × 200 dpi、400 × 400 dpi、600 × 600 dpi
符号化方式	MH、MR、MMR
適合回線	イーサネット LAN（100BASE-TX、10BASE-T 接続）
宛先登録	送信先 SIP 番号を登録：最大 540 件

※ dpi= dot/25.4 mm

第 6 章
登録／設定する

6.1 ワンタッチを登録する

■ SIP ファクスの場合

ワンタッチに相手先を登録しておくと、簡単かつ正確に送信できます。

ワンタッチにはメインの相手先と、メインの相手先が不通のときに送信するサブ相手先の 2 種類を登録できます。登録する項目は以下のとおりです。

項目	説明
相手先名	ワンタッチに表示される相手先の名称を入力します。入力できる文字数は半角 12 文字（全角 6 文字）以内で、全角と半角を混在して入力することができます。 例：東京 br
読み仮名	相手先の読み仮名を半角 12 文字以内で入力します。 入力しない場合は操作パネルでのワンタッチ検索ができません。
相手先番号	相手先の SIP ファクス番号を 64 桁以内で入力します。
送信サイズ（上限）	受信側のサポートしている原稿サイズの上限を A4/B4/A3 から選択します。
送信画質（上限）	受信側のサポートしている画質の上限を 200/400/600 dpi から選択します。 200 dpi はファイン、ハーフトーン、400 dpi はスーパーファイン、スーパーハーフトーンまで許可となります。
符号化方式	受信側に適した符号化方式を MH/MR/MMR から選択します。 符号化データ量は、画像データに依存しますが、一般的には、MMR < MR < MH の順で多くなります。
ポート番号	ポート番号を入力します。1 ～ 65535 の範囲の数値を入力します。

原則

サブ相手先として登録できる通信モードは以下のとおりです。

- PC（メール）送信
- PC（スキャナ）送信
- NW ファクス（インターネット FAX）送信
- NW ファクス（IP アドレス FAX）送信
- NW ファクス（IP 中継）送信
- G3 ファクス（G3）
- NW ファクス（SIP ファクス）送信

必ず守ってください

【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、最初の画面に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

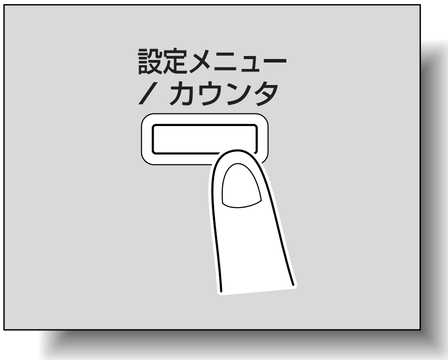
詳しく説明します

管理者保守の「管理者設定」で「ワンタッチ変更禁止」が「する」に設定されている場合、または、ソフトウェア DIPSW でワンタッチの登録が管理者開放に設定されている場合、セキュリティ強化モードが設定されている場合は、管理者保守でのみワンタッチの登録・変更・削除ができます。管理者設定について詳しくは「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」を、ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。

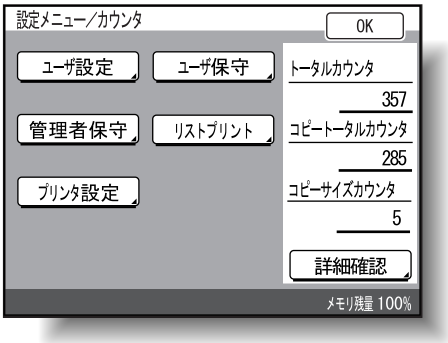
ひとこと

本機の設定により、特定の通信モードが選択できない場合があります。詳しくは本機管理者に確認してください。

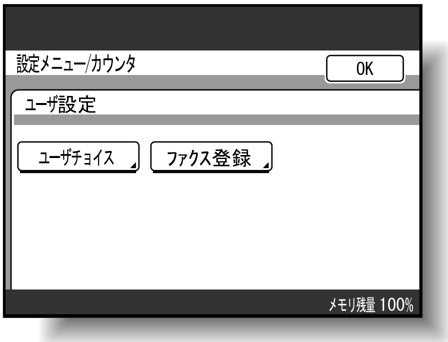
1 【設定メニュー／カウンタ】を押します。



2 ［ユーザ設定］を押します。



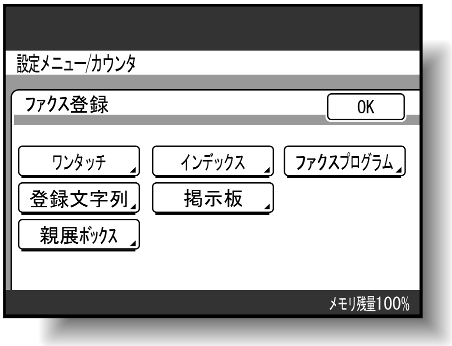
3 ［ファクス登録］を押します。



6

4

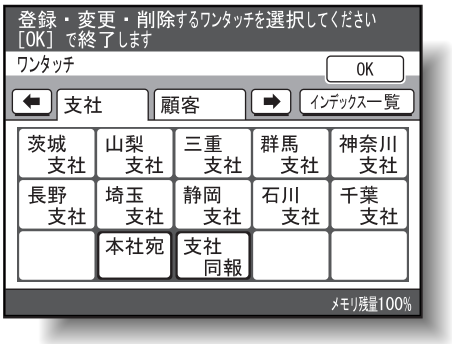
［ワンタッチ］を押します。



5

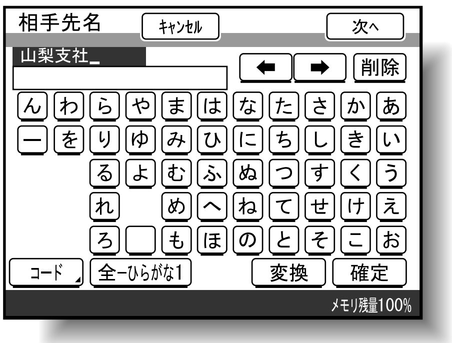
登録するワンタッチを押します。

❍ インデックスを押すか、［インデックス一覧］を押して目的のワンタッチを押してください。



6

ワンタッチに表示する相手先名を入力し、［次へ］を押します。



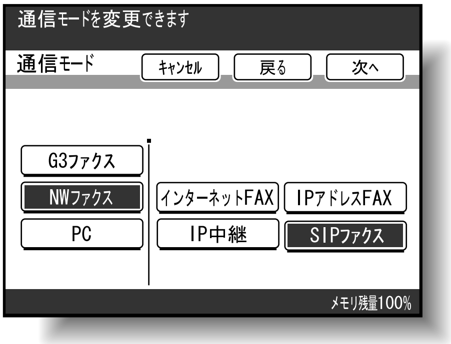
ひとこと

LDAP 検索ができる環境のときは、LDAP 検索でアドレスを探すかどうかを選択する画面が表示されます。ここでは［しない］を選択します。

7 相手先の読み仮名を入力し、[次へ] を押します。



8 通信モードを選択します。[NW ファクス] を押し、[SIP ファクス] を選択して [次へ] を押します。



9 相手先の SIP ファクス番号を入力します。



ひとこと

読み仮名は相手先名を入力した文字を参考に自動的に入力されています。必要に応じて修正してください。

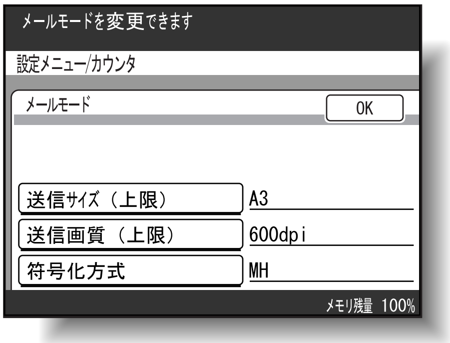
ひとこと

- SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないようにご入力ください。
- 入力する番号を間違えたときは、【C】を押して入力しなおしてください。
- [SIP ファクス] を指定した場合は、[ポーズ] は使用できません。

10 送信サイズの上限や符号化方式などを選択するときは、［メールモード］を押します。

❍ 設定できる内容は以下のとおりです。設定したら［OK］を押します。

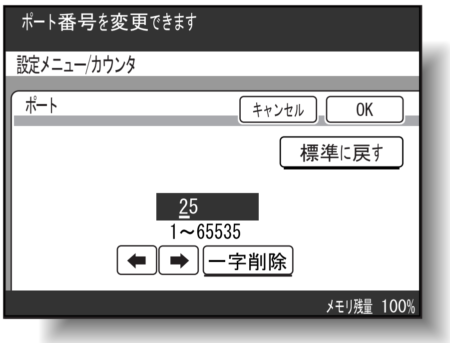
項目	説明
送信サイズ（上限）	受信側のサポートしている原稿サイズの上限を A4/B4/A3 から選択します。
送信画質（上限）	受信側のサポートしている画質の上限を 200/400/600 dpi から選択します。 200 dpi はファイン、ハーフトーン、400 dpi はスーパーファイン、スーパーハーフトーンまで許可となります。
符号化方式	受信側に適した符号化方式を MH/MR/MMR から選択します。 符号化データ量は、画像データに依存しますが、一般的には、MMR < MR < MH の順で多くなります。



11 ポート番号を変更するときは、［ポート］を押します。

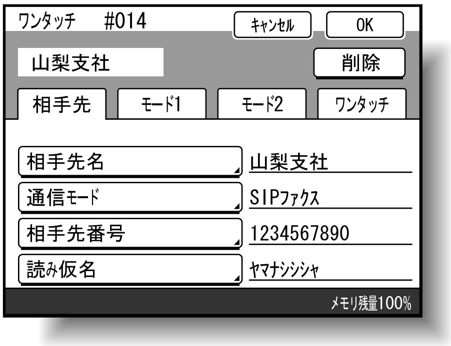
❍ ポート番号を変更するときは【C】を押してテンキーでポート番号を入力し、［OK］を押します。

❍ 出荷時の設定に戻すときは［標準に戻す］を押します。



12 ［次へ］を押します。

13 登録内容を確認し、［OK］を押します。



14 最初の画面に戻るまで［OK］を押します。

■ FAX over IP 送信 /G3 ファクスの場合

以下のように宛先を指定します。
その他の機能については、通常の G3 ファクスと同じです。

- FAX over IP 送信の場合：
  通信モードを「G3」に設定し、相手先のファクス番号をダイアルすることで、相手装置（SIP-FAX アダプタ付き MFP 装置）に送信することができます。
  送信のしかたは、一般電話回線を使用したファクス送信と同じです。
  ファクス送信の操作方法は、装置本体取扱説明書を参照してください。
- SIP-FAX アダプタを経由した G3 ファクス送信の場合：
  通信モードを「G3」に設定し、相手先のファクス番号に特番（0009）を付加してダイアルすることで、一般電話回線を経由して相手装置（G3 FAX 装置）に送信することができます。
  G3 FAX 通信を行う場合は、「0009-XXXX（相手先ファクス番号）」とダイアルします。
  その他の操作方法は、一般電話回線を使用したファクス送信と同じです。

参照

G3 ファクスの機能や操作方法について詳しくは、ユーザーズガイド ファクシミリ機能編をごらんください。

参照

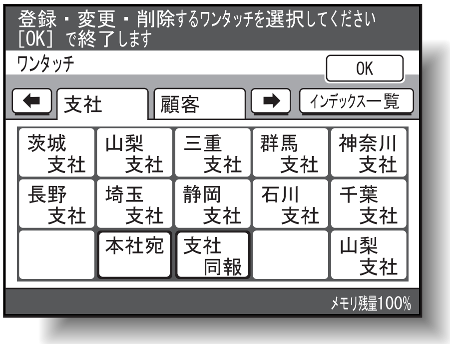
- 左記の宛先指定方法は、SIP-FAX アダプタの特番設定が初期値の場合です。
- 特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

6

■ ワンタッチを変更／削除する

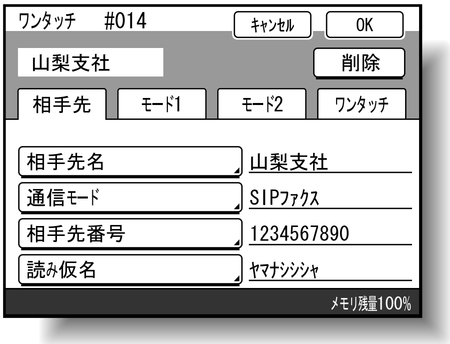
1 ワンタッチ登録操作の手順 1 ～ 4 を行います。

2 変更または削除したいワンタッチを押します。



3 変更する項目のキーを押し、登録内容を変更します。

❍ 削除する場合は［削除］を押します。



4 登録内容を確認し、［OK］を押します。

❍ 削除する場合は、削除確認のメッセージが表示されます。［はい］を押します。

5 最初の画面に戻るまで［OK］を押します。

参照

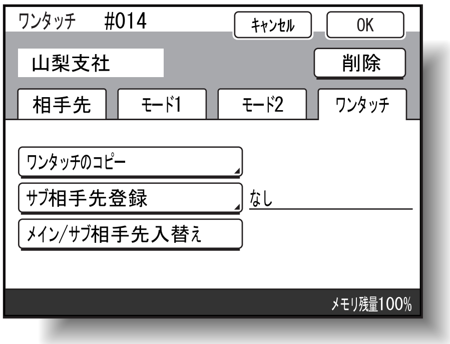
ワンタッチ登録操作について詳しくは、「ワンタッチキーのインデックスを登録する」（p. 6-11）をごらんください。

■ ワンタッチをコピーする

1 ワンタッチ登録操作の手順 1 ～ 4 を行います。

2 コピー元となるワンタッチを押します。

3 ［ワンタッチ］を押し、［ワンタッチのコピー］を押します。



4 コピー先のワンタッチを押します。



5 最初の画面に戻るまで［OK］を押します。

参照

ワンタッチ登録操作について詳しくは、「ワンタッチキーのインデックスを登録する」（p. 6-11）をごらんください。

ひとこと

- コピー先のワンタッチは何も登録されていないところを選択してください。
- コピー先の選択を解除するときは、選択したワンタッチをもう一度押します。

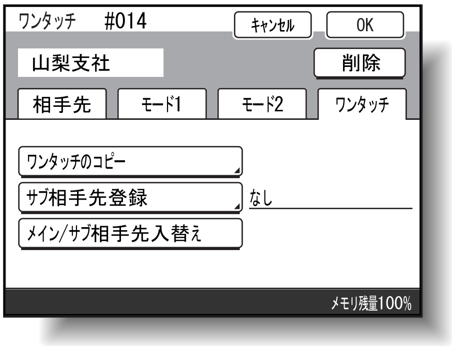
6

■ サブ相手先を登録／変更／削除する

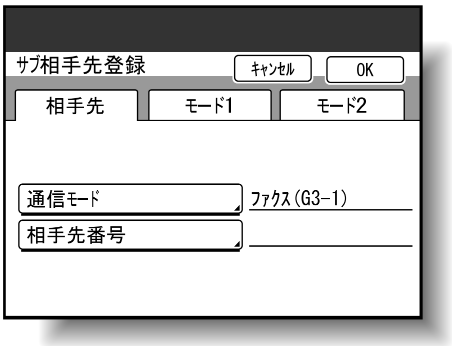
1 ワンタッチ登録操作の手順 1 〜 4 を行います。

2 サブ相手先を登録するワンタッチを押します。

3 ［ワンタッチ］を押し、［サブ相手先登録］を押します。



4 サブ相手先の情報を入力し、［OK］を押します。



- ❍ すでにサブ相手先が設定されている場合は、表示された内容を確認し、［設定変更］または［削除］を押します。
- ❍ 削除する場合は、削除確認のメッセージが表示されます。［はい］を押します。

5 最初の画面に戻るまで［OK］を押します。

参照

ワンタッチ登録操作について詳しくは、「ワンタッチキーのインデックスを登録する」（p. 6-11）をごらんください。

6.2 ワンタッチキーのインデックスを登録する

■ インデックスに名前をつける

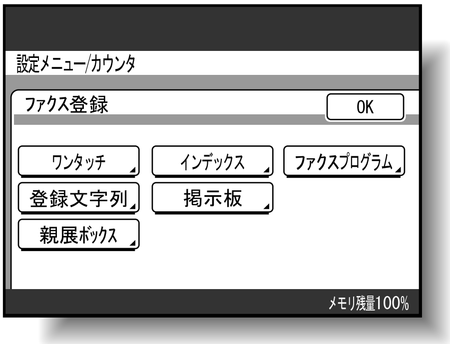
インデックスに「支社」「顧客」など名称をつけることでワンタッチを分類しておくと、目的のワンタッチが探しやすくなります。

原則

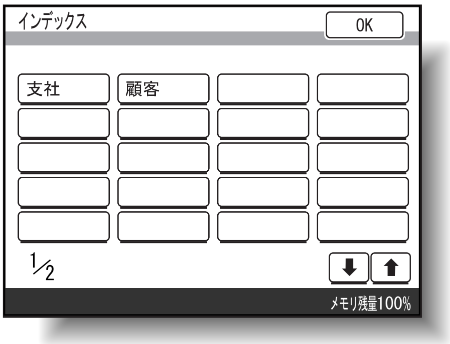
- インデックスの名称は半角 8 文字（全角 4 文字）以内で入力します。半角と全角の文字は混在させることができます。
- インデックスは 36 個あり、ひとつのインデックスには 15 件までのワンタッチが登録できます。

1 ワンタッチ登録操作の手順 1 ～ 3 を行います。

2 ［インデックス］を押します。



3 登録するインデックスを押します。

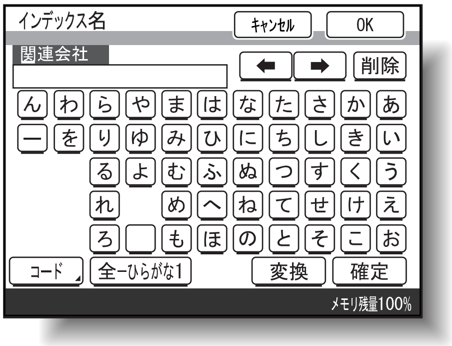


参照

ワンタッチ登録操作について詳しくは、「ワンタッチキーのインデックスを登録する」（p. 6-11）をごらんください。

6

4 インデックスの名称を入力し、［OK］を押します。

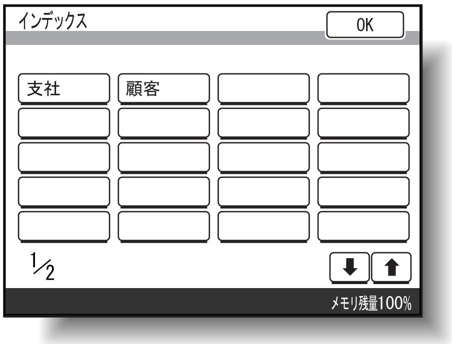


5 最初の画面に戻るまで［OK］を押します。

■ インデックスを変更する／削除する

1 ワンタッチ登録操作の手順 1 ～ 3 を行います。

2 変更したいインデックスキーを押します。



表示名を入力する画面が表示されます。

参照

ワンタッチ登録操作について詳しくは、「ワンタッチキーのインデックスを登録する」（p. 6-11）をごらんください。

3

登録名を変更します。

インデックスを削除するときは名称を空白にします。



4

最初の画面に戻るまで［OK］を押します。

■ ファクスプログラムを登録する

相手先とともに、通信時に使う機能を登録しておくと、ワンタッチを押すだけで登録した条件の通信を行うことができます。これを「ファクスプログラム」といいます。いつも決まった条件で決まった相手先に送信するときなどに便利です。

プログラムに登録できる項目には、以下の表のように送信方法によって機能しないものがあります。条件については、各項目のページをごらんください。

○ : 機能する項目

△ : 条件つきで機能する項目

ー : 機能しない項目

機能 / 設定項目	SIP ファクス
画質	○
濃度	○
倍率	—
原稿サイズ設定	○
発信元	○
結果レポート	○
2in1	○
両面送信	○
回転送信	○
優先送信	○
送信時刻	○
スタンプ	△
タイトル	—
Reply	—
ファイル名	—
E-Mail 通知	—

原則

- ファクスプログラムは最大 30 個登録できます。ただし、ファクスプログラムとワンタッチの合計が 540 個を超えることはできません。
- ひとつのファクスプログラムで、相手先は 300 件まで登録できます。

必ず守ってください

【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、最初の画面に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

参照

以下の機能の条件については「ユーザーズガイド　ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

- Scan to E-Mail
- Scan to FTP
- Scan to SMB
- Scan to HDD
- インターネット FAX

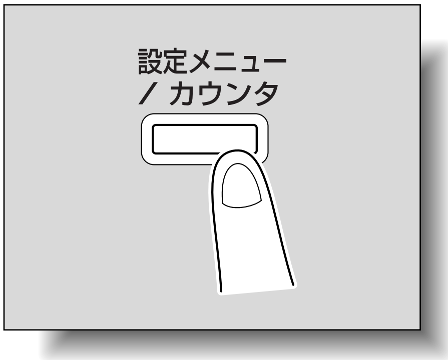
以下の機能の条件については「ユーザーズガイド　拡張スキャナ機能編」をごらんください。

- IP アドレス FAX
- Scan to PC
- IP 中継

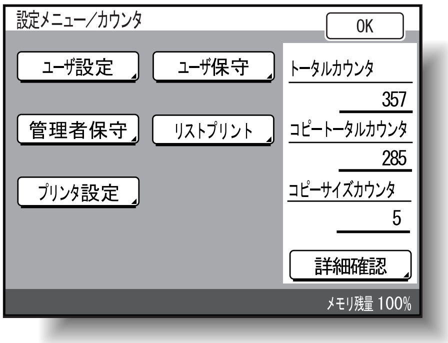
ひとこと

スタンプを使用するには、オプションのファクス済みスタンプユニットが必要です。

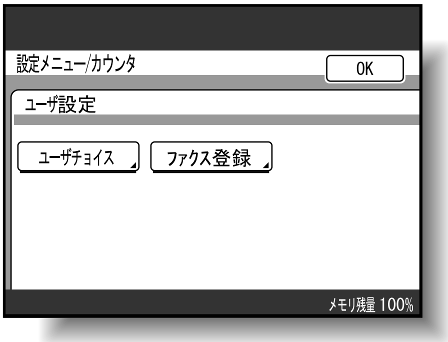
1 【設定メニュー／カウンタ】を押します。



2 ［ユーザ設定］を押します。

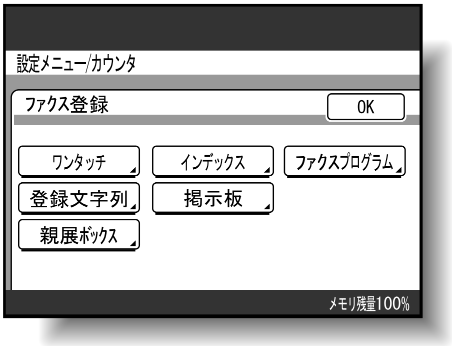


3 ［ファクス登録］を押します。



4

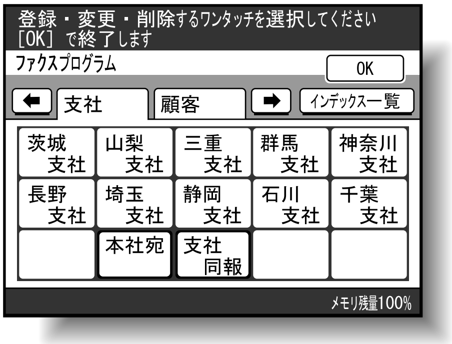
［ファクスプログラム］を押します。



5

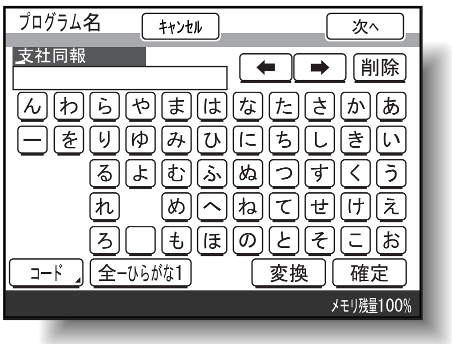
登録するワンタッチを押します。

❍ インデックスを押すか、［インデックス一覧］を押して目的のワンタッチを押してください。



6

ワンタッチに表示するプログラム名を入力し、［次へ］を押します。



ひとこと

プログラム名は半角 12 文字（全角 6 文字）以内で全角と半角を混在して入力することができます。

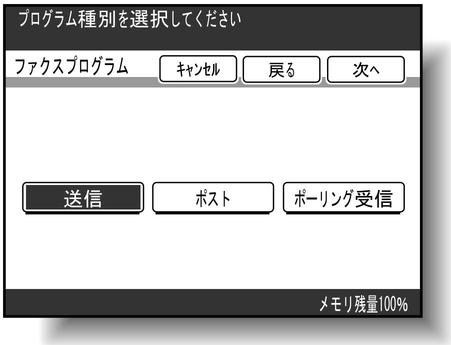
7

プログラム名の読み仮名を入力し、［次へ］を押します。



8

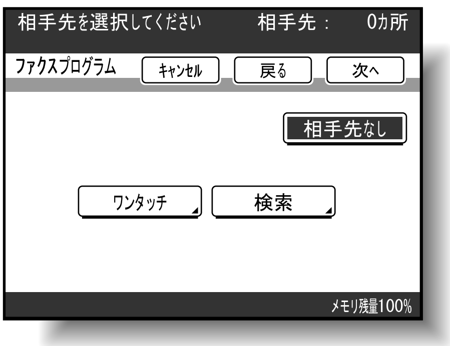
［送信］を選び［次へ］を押します。



9

相手先を指定します。

- ワンタッチで指定する場合は、［ワンタッチ］を押して、相手先のワンタッチを選択してから［OK］を押します。
- ワンタッチ検索で指定する場合は［検索］を押して、相手先を指定してから［OK］を押します。
- 相手先を登録しないときは［相手先なし］を選択します。



10

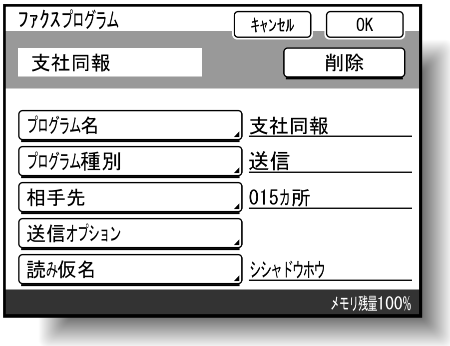
［次へ］を押します。

ひとこと

読み仮名はプログラム名を入力した文字を参考に自動的に入力されています。必要に応じて修正してください。

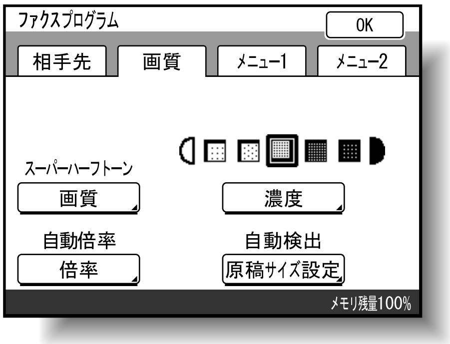
6

11 [送信オプション] を押します。



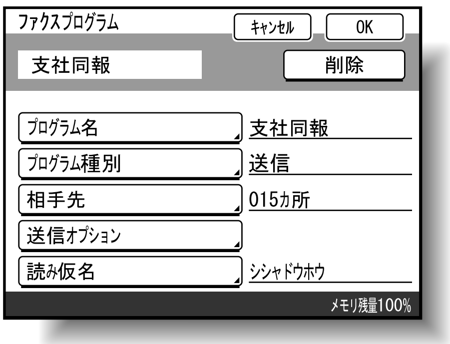
12 登録する機能を設定します。

- [画質] を押すと画質 / 濃度 / 原稿サイズ設定を設定できます。
- [メニュー1] を押すと結果レポート / 優先送信 / 送信時刻 /2in1/ 両面送信 / スタンプを設定できます。



13 [OK] を押します。

14 登録内容を確認し、[OK] を押します。



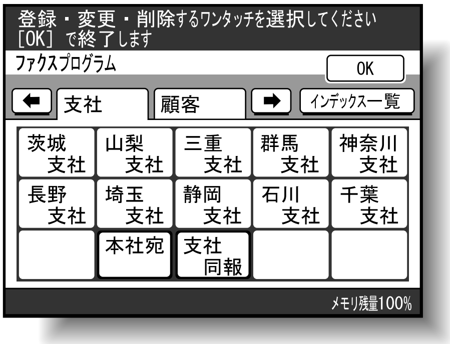
15 最初の画面に戻るまで [OK] を押します。

■ ファクスプログラムを変更／削除する

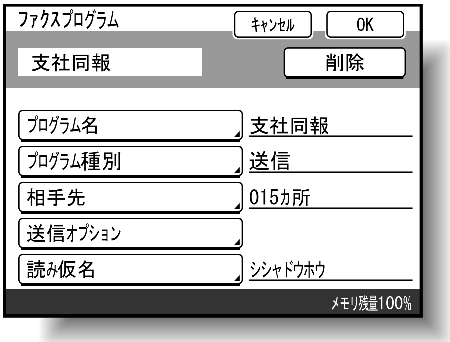
1 ファクスプログラム登録操作の手順 1 〜 4 を行います。

2 変更または削除するファクスプログラムのワンタッチを押します。

❍ インデックスを押すか、［インデックス一覧］を押して目的のワンタッチを押してください。



3 変更する項目を押し、登録内容を変更します。ファクスプログラムを削除するときは［削除］を押します。



4 登録内容を確認し、［OK］を押します。

❍ 削除する場合は、削除確認のメッセージが表示されます。［はい］を押します。

5 最初の画面に戻るまで［OK］を押します。

参照

ファクスプログラム登録操作について詳しくは、「ファクスプログラムを登録する」（p. 6-14）をごらんください。

第 7 章
PageScope Web Connection を使って設定する

デバイス管理ユーティリティの PageScope Web Connection へアクセスする方法と、本機の設定変更を説明します。

7.1 PageScope Web Connection で設定できる項目

PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバが提供するデバイス管理ユーティリティです。
ネットワークに接続しているパソコンで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection へアクセスして本機の設定を変更できます。

設定を変更するのに本機まで行かなくても、手元のパソコン上から手軽に操作できる上、漢字の入力などもスムーズなので便利です。

ネットワークおよびスキャナ機能に関して設定できる項目は以下のとおりです。

PageScope Web Connection には誰でもアクセスできるユーザモードと管理者番号の入力が必要な管理者モードがあります。
それぞれのモードで設定できる項目は以下のとおりです。

■ ファクス／ SIP ファクススキャナ登録（ユーザーモード）

項目	説明
ワンタッチ登録	ワンタッチにファクス／ SIP ファクスの相手先を登録します。登録したデータの変更、削除もできます。また、インデックス名の変更ができます。
ファクスプログラム登録	ワンタッチにファクスプログラムを登録します。 相手先のみを登録するワンタッチと違い、スキャン条件を登録したり複数の相手先を指定することができます。登録したデータの変更、削除もできます。 詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

■ ネットワーク（管理者モード）

項目	説明
SIP ファクス設定	SIP ファクス機能を使用する設定をし、SIP アダプタアドレスおよびポート番号を設定します。

このほか、本機を使用するために必要なネットワーク設定などについては、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

詳しく説明します

管理者保守の「管理者設定」で「ワンタッチ変更禁止」が「する」に設定されている場合は、管理者モードに［ファクス／スキャナ登録(2)］タブが追加され、ここでワンタッチの登録・変更・削除ができます。ユーザモードでは［ファクス／スキャナ登録］タブは表示されません。

7.2 PageScope Web Connection の使い方

■ 動作環境

ネットワーク	Ethernet（TCP/IP）
パソコン側のアプリケーション	Windows98SE/Me/NT4.0 の場合 : Microsoft Internet Explorer 4 以降、 Netscape Navigator 4.73 もしくは 7.0 Windows2000 の場合 : Microsoft Internet Explorer 5 以降、 Netscape Navigator7.0 WindowsXP の場合 : Microsoft Internet Explorer 6 以降、 Netscape Navigator7.0 *Microsoft Internet Explorer 5.5 ではワンタッチのエクスポート機能が正常に動作しないことがあります。Microsoft Internet Explorer 5.5ServicePack1 以降を使用してください。

詳しく説明します

PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバが提供する、デバイス管理用ユーティリティです。ネットワーク上のパソコンで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection へアクセスして、本機の設定を変更できます。

必ず守ってください

PageScope Web Connection でアクセスするときは、プロキシサーバを使用しないでください。

ひとこと

本機の設定で TCP/IP の使用を禁止している場合は、PageScope Web Connection は使用できません。

7

■ アクセス方法

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザを使用して直接アクセスできます。

1 Web ブラウザを起動します。

2 URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して［Enter］キーを押します。

- http:// ＜本機の IP アドレス＞ /
  （例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
  http://192.168.1.20/

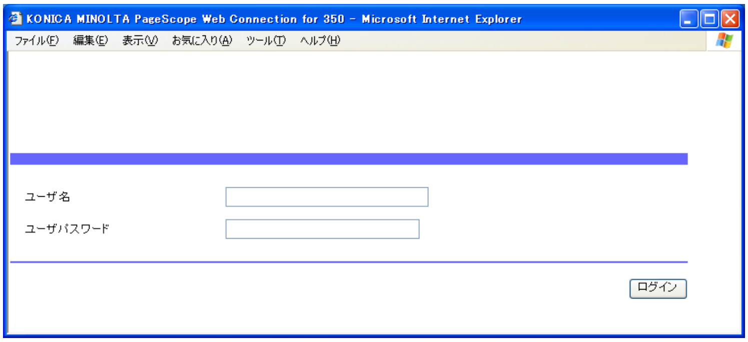
詳しく説明します

SSL/TLS を有効に設定したあとの URL は、https:// ＜本機の IP アドレス＞ / になります。「http://」と入力しても自動的に「https://」へ転送されます。（セキュリティ強化モードが設定されている場合は、SSL は強制的に有効になります。）

■ ユーザ認証を行っているときは

ユーザ認証または外部サーバ認証を行っているときは、以下の画面が表示されます。

ユーザ名とパスワードを入力し、［ログイン］をクリックしてください。



ログアウトするときは、画面右上の［ログアウト］をクリックします。

■ 部門管理を行っているときは

部門管理を行っているときは、部門番号を入力する必要はありません。

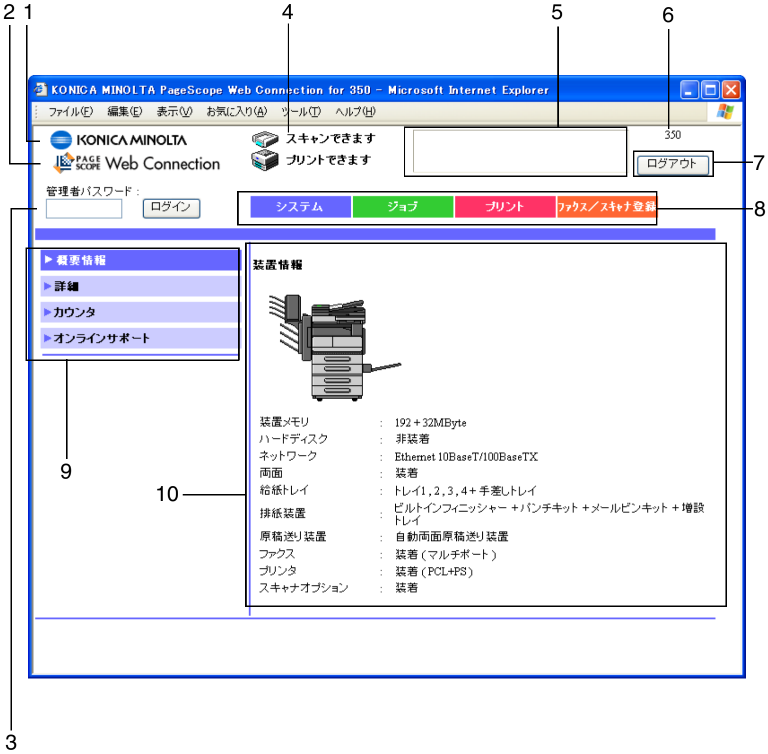
ひとこと

- ユーザ認証について詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- ユーザ名とパスワードはネットワーク管理者に問い合わせてください。
- ユーザ認証でログインした状態で、操作が 10 分間行われないと自動的にタイムアウトになり、操作ができなくなります。
- セキュリティ強化モードまたはソフトウェア DIPSW でアクセスロックが設定されている場合は、パスワード入力を 3 回失敗すると、本機がロックされ、操作できなくなります。操作できなくなった場合は、本機管理者に連絡してください。

■ 画面の構成

PageScope Web Connection へのアクセス直後に表示される画面は「ユーザモード」と呼ばれる画面で、誰でも閲覧できます。

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。



No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://konicaminolta.com
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、バージョンが表示されます。
3	管理者モードへのログイン	管理者モードにログインできます。
4	ステータス表示	本機プリンタ部分と本機スキャナ部分の状態が、アイコンで表示されます。
5	メッセージ表示	本機にエラーが発生している場合に、トラブル／エラーの状態とエラーの内容が表示されます。
6	機種名	アクセスしている機種の名称が表示されます。

参照

「管理者パスワード」にパスワードを入力することで「管理者モード」と呼ばれる画面に入ることができます。詳しくは、「管理者モードへのログイン方法」（p. 7-6）をごらんください。

ひとこと

ステータス表示やメッセージ表示を最新の状態にするときは、ブラウザ上で［更新］をしてください。

7

No.	項目	説明
7	［ログアウト］	ユーザ認証でログインしているときに表示されます。クリックするとログアウトします。
8	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザモードでは、以下のタブが表示されます。 ・システム ・ジョブ ・プリント ・ファクス／スキャナ登録
9	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
10	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

■ 管理者モードへのログイン方法

ユーザモードと管理者モードの切換えを行います。システム設定やネットワーク設定などを行うには、管理者モードに入る必要があります。

1 本機の管理者パスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。



管理者モードの画面に切り換わります。



ユーザモードにもどる場合は、［ログアウト］をクリックします。

原則

管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。
本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。
管理者モードにログインした状態で、操作が 10 分間行われないと、自動的にタイムアウトとなり、管理者モードでの操作ができなくなります。

7

■ Web ブラウザのキャッシュ機能について

Web ブラウザにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザでキャッシュ機能を無効にしてください。

原則

キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

Internet Explorer の場合

1. 「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択します。
2. 「全般」タブで「インターネット一時ファイル」の［設定］をクリックします。
3. 「ページを表示するごとに確認する」を選択し、［OK］をクリックします。

Netscape の場合

1. 「編集」メニューから「設定」を選択します。
2. 左側の「カテゴリ」で「詳細」－「キャッシュ」を選択します。
3. 「キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較：」で「ページにアクセスするたび」を選択します。

ひとこと

Web ブラウザのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは Web ブラウザのヘルプをごらんください。

7.3 ワンタッチ登録（ユーザモード）

SIP ファクスの送信先をワンタッチに登録します。
インデックスの名称をつけることもできます。

原則

本機には 36 個のインデックスがあり、それぞれのインデックスには 15 個までのワンタッチおよびファクスプログラムを登録できます。

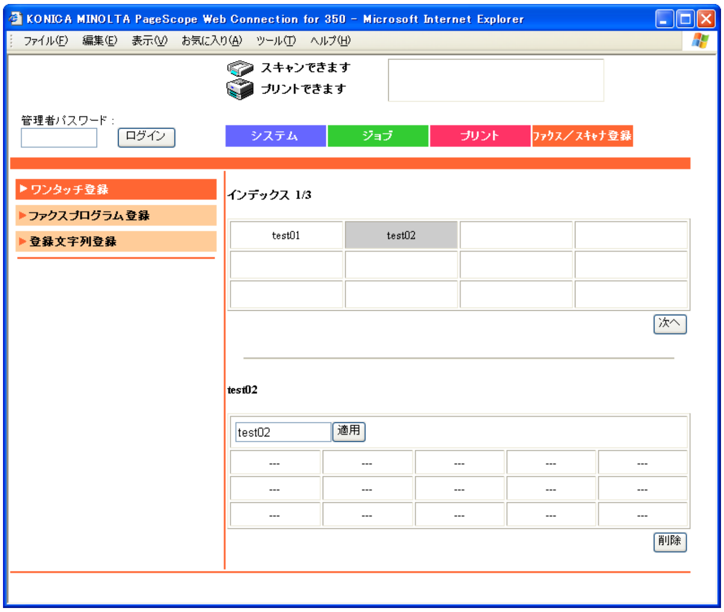
■ インデックスに名前をつける

1. ［ファクス／スキャナ登録］タブをクリックします。

2. ［ワンタッチ登録］をクリックします。

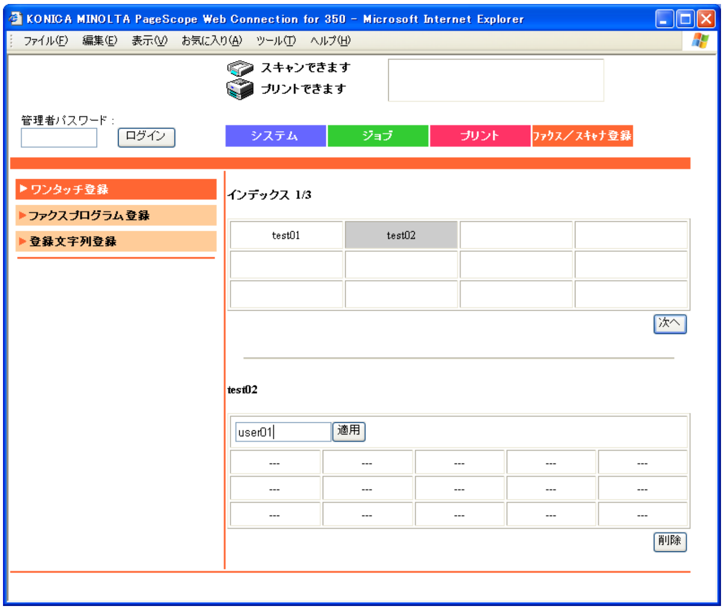
3. 「インデックス」から名前をつけるインデックス（枠の中央部分）をクリックします。

   選択したインデックスに保存されているワンタッチが画面下半分に表示されます。



4 インデックス名を入力し、［適用］をクリックします。

インデックス名が画面上半分のインデックス一覧に表示されます。



ひとこと

入力できる文字数は、半角8文字（全角4文字）以内です。

■ ワンタッチに登録する

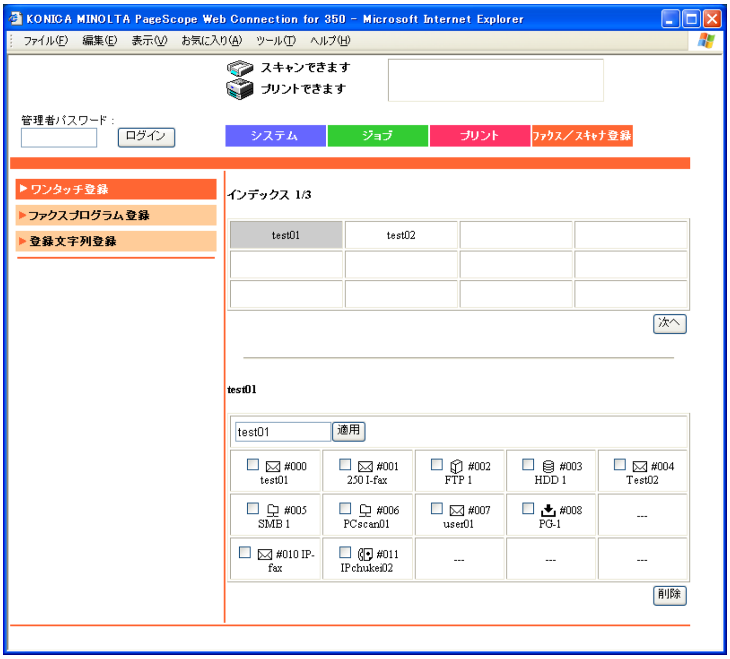
1. ［ファクス／スキャナ登録］タブをクリックします。

2. ［ワンタッチ登録］をクリックします。

3. 「インデックス」からワンタッチを登録するインデックス名をクリックします。

   選択したインデックスに保存されているワンタッチが画面下半分に表示されます。

4. 登録されていないワンタッチをクリックします。



ひとこと

登録されていないワンタッチは「---」と表示されています。

7

5 登録する通信モードを選択し、［次へ］をクリックします。

❍「NW ファクス（SIP ファクス）送信」を選択します。



6 画面の項目を入力します。



項目	説明
相手先名	ワンタッチキーに表示する相手先の名称を入力します。
読み仮名	相手先の読み仮名を半角カタカナで入力します。

ひとこと

本機の設定により、特定の通信モードが選択できない場合があります。詳しくは本機管理者に確認してください。

項目	説明
相手先番号	相手先の SIP ファクス番号を入力します。
ポート番号	ポート番号を入力します。
送信サイズ（上限）	送信サイズの上限を選択します。
送信画質（上限）	送信画質の上限を選択します。
符号化方式	送信時の符号化方式を選択します。

7 ［適用］をクリックします。

ワンタッチが登録されます。

■ サブ相手先を登録する

ワンタッチの相手先には、万一送信できなかったときの送信先として「サブ相手先」を設定できます。

原則

サブ相手先として登録できる通信モードは以下のとおりです。

- PC（メール）送信
- PC（スキャナ）送信
- NW ファクス（IP アドレス FAX）送信
- NW ファクス（インターネット FAX）送信
- NW ファクス（IP 中継）送信
- ファクス（G3）送信
- NW ファクス（SIP ファクス）送信

1 サブ相手先を登録するワンタッチをクリックします。

2 ［次へ］をクリックします。



ひとこと

本機の設定により、特定の通信モードが選択できない場合があります。詳しくは本機管理者に確認してください。

3

［サブ相手先登録］をクリックします。



4

サブ相手先の通信モードを選択し、［次へ］をクリックします。



ひとこと

本機の設定により、特定の通信モードが選択できない場合があります。詳しくは本機管理者に確認してください。

7

5 それぞれの項目を入力し、［適用］をクリックします。

❍ 項目の説明は「ワンタッチに登録する」（p. 7-11）をごらんください。



ひとこと

- 相手先名はメイン相手先と同じ内容が表示されます。その他の項目を設定してください。
- 登録したサブ相手先を削除するときは［サブ相手先削除］をクリックします。

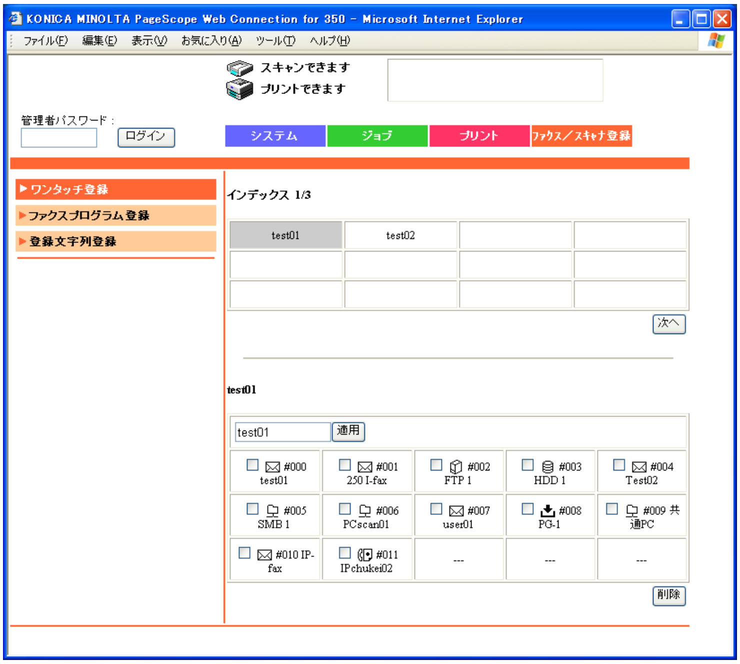
■ ワンタッチの内容を変更する

1 ［ファクス／スキャナ登録］タブをクリックします。

2 ［ワンタッチ登録］をクリックします。

3 「インデックス」からワンタッチを変更するインデックス名をクリックします。

選択したインデックスに保存されているワンタッチが画面下半分に表示されます。



4 変更したいワンタッチをクリックします。

ひとこと

ファクスプログラムはクリックしても選択できません。

7

5 通信モードを変更するときは通信モードを選択し、[次へ] をクリックします。



6 それぞれの通信モードの画面で項目を入力します。

❍ 項目の説明は「ワンタッチに登録する」（p. 7-11）をごらんください。

■ ワンタッチを削除する

1 [ファクス／スキャナ登録] タブをクリックします。

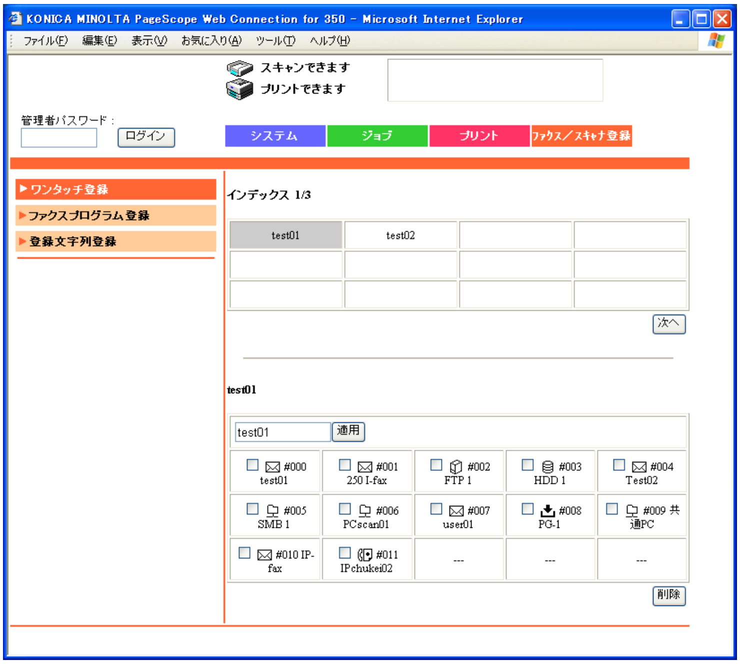
2 [ワンタッチ登録] をクリックします。

ひとこと

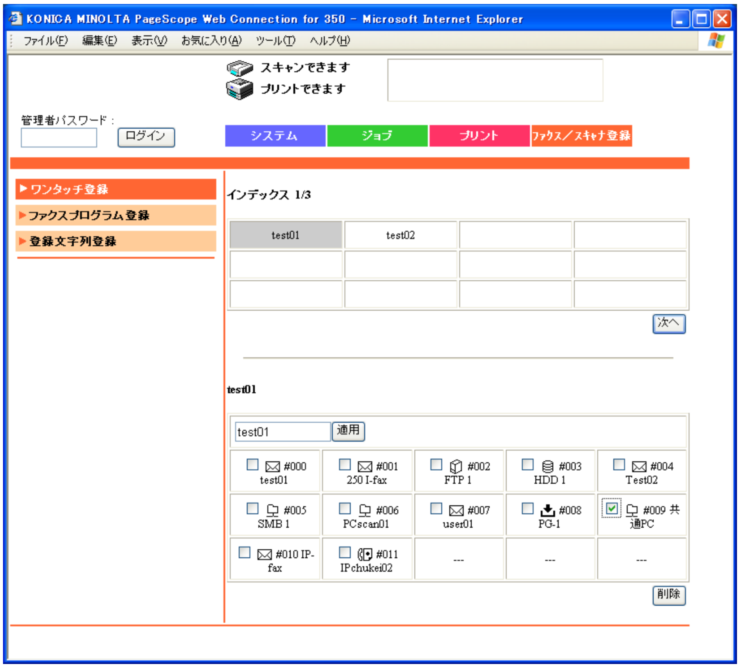
- 本機の設定により、特定の通信モードが選択できない場合があります。詳しくは本機管理者に確認してください。
- サブ相手先がすでに登録されている場合は、「PC(FTP) サーバ送信」、「PC(SMB) 送信」、「HDD 送信」は表示されません。（* オプションのハードディスク装着時）

3 「インデックス」からワンタッチを変更するインデックス名をクリックします。

選択したインデックスに保存されているワンタッチが画面下半分に表示されます。



4 削除したいワンタッチの□をクリックして、チェックマークをつけます。



5 ［削除］をクリックします。

7.4 SIP ファクス設定（管理者モード）

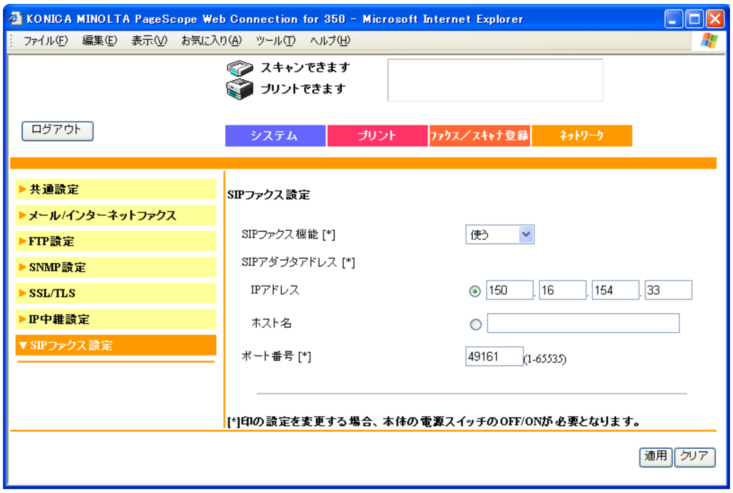
SIP ファクス機能を使用するために、SIP ファクス設定をします。
設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
SIP ファクス機能（*）	SIP ファクス機能を使用するかどうかを設定します。
SIP アダプタアドレス（*）	SIP-FAX アダプタの指定形式（IP アドレス／ホスト名）を選択します。 IP アドレス：SIP-FAX アダプタの IP アドレスを設定します。 ホスト名：SIP-FAX アダプタのホスト名を設定します。
ポート番号(*)	ポート番号を入力します。

1 管理者モードで［ネットワーク］タブをクリックします。

2 ［SIP ファクス設定］をクリックします。

3 それぞれの項目を設定し、［適用］をクリックします。



4 （*）印の項目を変更した場合は、本機の主電源スイッチを OFF/ON します。

ひとこと

- ホスト名は、ネットワーク設定の［DNS 設定］を［使う］にしている場合に入力できます。
- （*）印の設定を変更した場合は、本機の主電源スイッチを OFF/ON してください。主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

参照

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」（p. 7-6）をごらんください。

必ず守ってください

主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

7

第 8 章
保守設定

本機の使用にあたって、管理者保守で設定できる項目について説明します。

8.1 設定できる項目

■ 管理者保守で設定する項目

本書の記載内容に関連する管理者保守の項目は以下のとおりです。

項目	説明
SIP ファクス設定	SIP ファクス機能を使用する設定をし、SIP アダプタアドレスおよびポート番号を設定します。
ソフトウェア DIPSW	機器の状態を設定します。

必ず守ってください

【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、最初の画面に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

■ 必要なネットワーク設定項目の一覧

本書に記載されている機能を使用するために必要なネットワーク設定項目は以下のとおりです。

「IP 中継設定」以外のネットワーク設定項目については、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

◎：必須項目

○：有効となる項目

△：環境により設定が必要

－：その機能では無効

設定項目 ＼ 機能	SIP ファクス
基本設定	
DHCP	△
IP アドレス設定	◎
サブネットマスク	◎
ゲートウェイ	△
自装置ドメイン名	－
ネットワークボード設定	△
DNS 設定	
使う / 使わない	△
ホスト名	△
ドメイン名	△
DNS サーバアドレス	△
装置名	
装置名	○

ひとこと

「自装置ドメイン名」は設定しないでください。

設定項目 ＼ 機能	SIP ファクス
SMTP 設定	
SMTP サーバアドレス	ー
E-Mail アドレス	ー
SMTP 認証ユーザ名	ー
SMTP 認証パスワード	ー
POP3 設定	
POP3 サーバアドレス	ー
POP3 ユーザ名	ー
POP3 パスワード	ー
自動到着確認	ー
優先圧縮レベル	
メールモード	○
スキャナモード	ー
スキャナ送受信設定	
結果通知	ー
受信文書ヘッダ印刷	ー
送信文書テキスト挿入	ー
ゲートウェイ送信	ー
タイトル登録	ー
分割設定	ー
Ping：必要に応じて行います。	
フレームタイプ設定：NetWare サーバに接続して PC プリンタ機能を使用する場合に設定します。	
LDAP 設定：LDAP 検索機能を使用する場合に設定します。	
IP フィルタリング：IP フィルタリング機能を利用する場合に設定します。	
IP 中継設定	
中継先登録	ー
中継先選択	ー
結果受信ポート	ー
SIP ファクス設定	
SIP ファクス設定	◎
SIP アダプタアドレス	◎

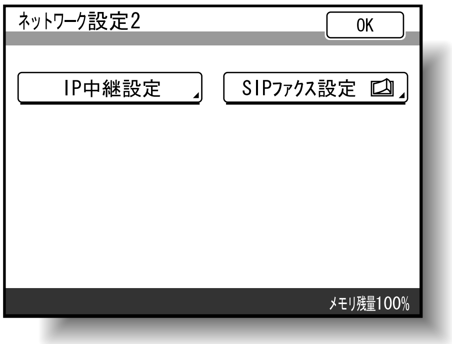
8.2 SIP ファクス設定

SIP ファクスの設定をします。登録する内容は以下のとおりです。

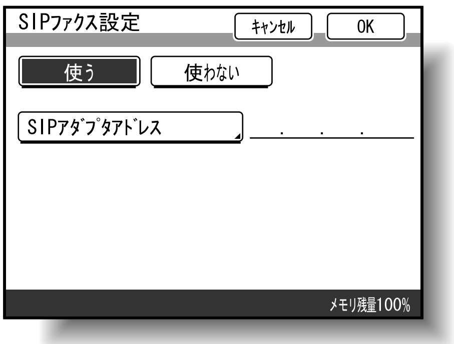
項目	説明
SIP ファクス設定	SIP ファクス機能を「使う／使わない」を設定します。 本機に SIP-FAX アダプタを接続して、SIP ファクス通信を行う場合は［使う］に設定します。 詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
SIP アダプタアドレス	SIP-FAX アダプタの IP アドレスを設定します。 詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

1 管理者モードにログインし、［管理者保守 2］を押します。

2 ［ネットワーク設定］－［ネットワーク設定 2］－［SIP ファクス設定］を押します。

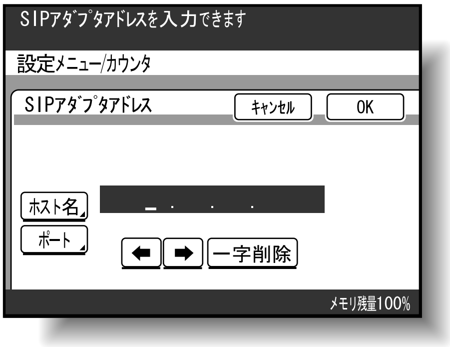


3 ［使う］を押す。



4 ［SIP アダプタアドレス］を押します。

5 SIP-FAX アダプタのアドレスを入力し、［OK］を押します。



❍ ホスト名で指定する場合は、［ホスト名］を押し、SIP-FAX アダプタのアドレスを入力して、［OK］を押します。



詳しく説明します

以下に示すアドレスは設定できません。
- 先頭桁が「0.」で始まるアドレス
- 先頭桁が「127.」で始まるアドレス
- 先頭桁が「224.」以上の数字で始まるアドレス

ひとこと

SIP-FAX アダプタのアドレスは、IP アドレスまたはホスト名のどちらか一方を入力してください。

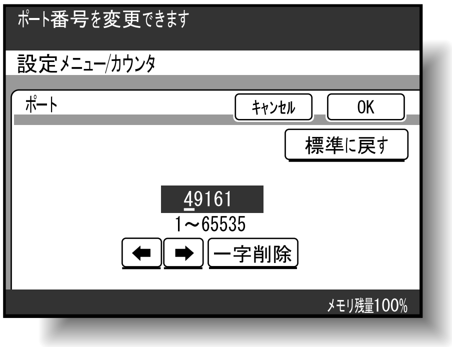
ひとこと

- ［ホスト名］は、DNS 設定を［使う］に設定した場合にのみ表示されます。
- ［IP 入力］を押すと、SIP-FAX アダプタの IP アドレスを入力する画面を表示します。

6

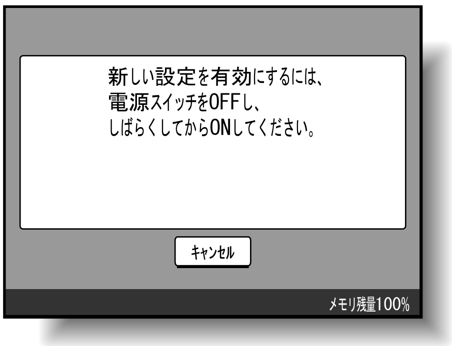
ポートを変更する場合は、[ポート] を押します。

❍ テンキーでポート番号を入力し、[OK] を押します。



7

主電源を切るメッセージが表示されるまで [OK] を押します。



8

主電源を OFF/ON します。

必ず守ってください

主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

8.3 機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）

■ ソフトウェア DIPSW とは

本機のご利用状況に合わせてソフトウェア DIPSW の数値（モード、ビット、HEX）を指示することで、各機能の状態を変更できます。

モード	設定する項目を 3 桁の数字で表現します。テンキーで入力します。
ビット	モードの状態を構成する 8 桁の数字です。7 ～ 0 までのそれぞれの桁にビットを 2 進数（1 または 0）で指定することで、機能の状態を設定します。
HEX	各機能の状態を 16 進数（0 ～ 9、A ～ F）の組み合わせで表しています。ビット指定が「00110000」の場合、HEX 指定は「30」と表現できます。 モードの状態はビット指定または HEX 指定で行います。

ビット指定（2 進数）と HEX 指定（16 進数）の表示例は以下のとおりです。

10 進数	ビット指定（2 進数）	HEX 指定（16 進数）
0	0000 0000	00
1	0000 0001	01
2	0000 0010	02
3	0000 0011	03
4	0000 0100	04
5	0000 0101	05
6	0000 0110	06
7	0000 0111	07
8	0000 1000	08
9	0000 1001	09
10	0000 1010	0A
11	0000 1011	0B
12	0000 1100	0C
13	0000 1101	0D
14	0000 1110	0E
15	0000 1111	0F
16	0001 0000	10
17	0001 0001	11
18	0001 0010	12
19	0001 0011	13
20	0001 0100	14

必ず守ってください

本書に記載されている以外のモードおよびビットは、変更しないでください。

ひとこと

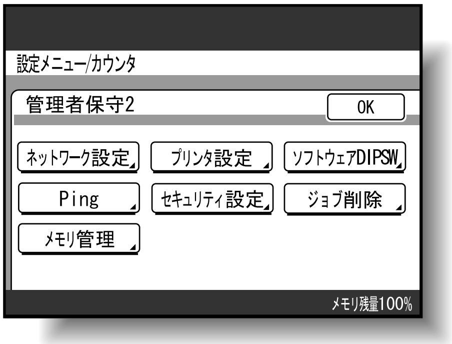
セキュリティ強化モードが設定されている場合は、ソフトウェア DIPSW は変更できません。

10 進数	ビット指定（2 進数）	HEX 指定（16 進数）
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
252	1111 1100	FC
253	1111 1101	FD
254	1111 1110	FE
255	1111 1111	FF

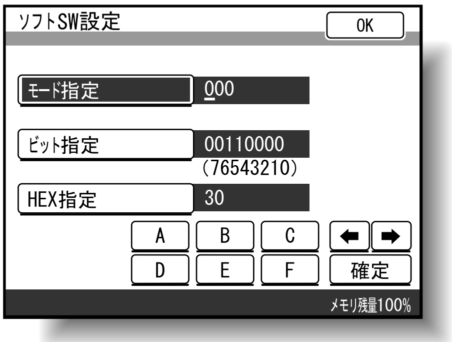
■ ソフトウェア DIPSW 変更の手順

1 管理者モードにログインし、［管理者保守 2］を押します。

2 ［ソフトウェア DIPSW］を押します。

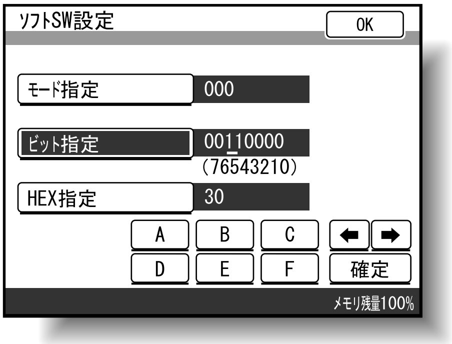


3 ［モード指定］を押し、テンキーでモード番号を入力します。

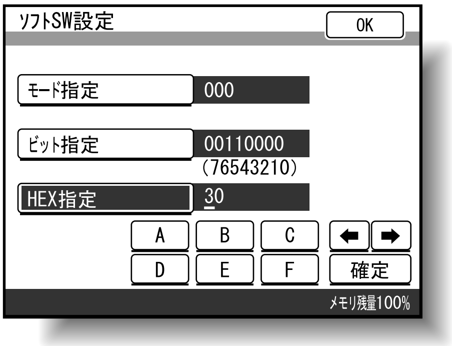


4 ビット指定またはHEX指定で機能の状態を設定します。

- ビット指定の場合は、［ビット指定］を押し、［←］［→］で変更するビットにカーソルを合わせてテンキーでビットを指定し、［確定］を押します。



- HEX 指定の場合は、［HEX 指定］を押し、テンキーと［A］～［F］で指定し、［確定］を押します。



5 続けて他のモードを変更するときは、手順 3 ～ 4 を繰り返します。

6 最初の画面に戻るまで［OK］を押します。

7 主電源を OFF/ON します。

ひとこと

主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

8

■ 一般加入電話回線に関する指定をする（モード 006 ）

一般加入電話回線の F ネット無鳴動受信の設定（ポート１）、発呼方法を指定します。

購入時の状態

ビット	７６５４　３２１０
状態	０１０１　００１０（HEX：52）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4	----------------------	01010	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	----------
2	F ネット無鳴動受信の指定（ポート１）	0	禁止	----------
		1	許可	
1	一般加入電話回線の発呼方法を指定（＊）	0	操作や登録の内容に基づき、ポート１、２の指定された回線から発呼を行う	p. 1-6
		1	操作や登録の内容に関係なく、ポート１、２の空いている回線から発呼を行う	
0	----------------------	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	----------

（＊）オプションの回線拡張キット使用時に有効です。

■ ダイアル入力と同報送信を制限する（モード 018）

ダイアル入力での送信先指定と同報送信を制限するかしないかを指定します。

購入時の状態

ビット	７６５４　３２１０
状態	００００　００００（HEX：00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4	----------------------	0000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	----------
3	ダイアル入力での送信先指定を禁止する・しないの指定（＊）	0	許可する	p. 2-8
		1	禁止する	
2	同報送信を禁止する・しないの指定	0	許可する	p. 2-2、p. 2-8
		1	禁止する	
1, 0	----------------------	00	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	----------

（＊）モード 477 ビット 6 を「管理者モードでのみ設定可能」のとき、連動して「禁止する」に設定されます。

8

■ 結果レポートの画像に関する指定をする（モード 023）

結果レポートに送信画像を付けるかどうかの指定をします。

購入時の状態

ビット	７６５４　３２１０
状態	１１１１　１０００（HEX：F8）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4	----------------------	1111	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	----------
3	結果レポートに送信画像を付ける・付けないの指定	0	付けない	p. 2-24
		1	付ける	
2, 1, 0	----------------------	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	----------

■ 通信モードの使用制限をする－１（モード 475）

通信モードを個別に、使用を許可するか禁止するかを指定します。通信モード選択画面に表示される通信モードは、禁止されると画面に表示されなくなります。

購入時の状態

ビット	７６５４　３２１０
状態	００００　００００（HEX：00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	TCP/IP の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
6	LPD の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
5	RAW Port の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
4	SLP の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
3	Scan to FTP の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
2	FTP Server の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
1	SNMP の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
0	---------------------	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	----------

ひとこと

- 登録済みのワンタッチは、禁止された通信モードが設定されていてもそのまま通信できます。
- すべての通信モードを禁止する（モード 475 ～ 477）と、送信を設定する画面などが正常に表示されないことがあります。

8

■ 通信モードの使用制限をするー 2（モード 476）

通信モードを個別に、使用を許可するか禁止するかを指定します。通信モード選択画面に表示される通信モードは、禁止されると画面に表示されなくなります。

購入時の状態

ビット	７６５４　３２１０
状態	００００　００００（HEX : 00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	Scan to SMB の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
6	SMB プリントの使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
5	G3 ファクスの使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
4	Scan to HDD の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
3	Scan to E-mail の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
2	インターネットファクスの使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
1	IP 中継の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
0	IP アドレス FAX の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	

ひとこと

- 登録済みのワンタッチは、禁止された通信モードが設定されていてもそのまま通信できます。
- すべての通信モードを禁止する（モード 475 〜 477）と、送信を設定する画面などが正常に表示されないことがあります。

■ 通信モードの使用制限をするー 3 / ファクス登録 / レポート出力の設定権限およびワンタッチ表示の有無を指定する（モード 477）

通信モードを個別に、使用を許可するか禁止するかを指定します。通信モード選択画面に表示される通信モードは、禁止されると画面に表示されなくなります。

また、ファクス登録、レポート出力をユーザモードで設定するかどうかを指定し、画面およびレポートでワンタッチ情報を表示するかどうかを指定します。

購入時の状態

ビット	７６５４　３２１０
状態	００００　００００（HEX：00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	PC（スキャナ）の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
6	ファクス登録、レポート出力の条件設定をユーザも設定可・管理者のみが設定可の指定	0	ユーザも設定可能	p. 6-2
		1	管理者モードでのみ設定可能	
5	ワンタッチを押したときおよびレポート / ジョブリストに相手先名だけを表示し、ファクス番号 / アドレスを表示しない（※1）（※ 2）	0	表示する	----------
		1	表示しない	
4	SIP ファクスの使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	
3	TCPSocket の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	----------
		1	禁止する	

ひとこと

- 登録済みのワンタッチは、禁止された通信モードが設定されていてもそのまま通信できます。
- すべての通信モードを禁止する（モード 475 ～ 477）と、送信を設定する画面などが正常に表示されないことがあります。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
2,1,0	----------------------	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	----------

（※ 1）ビット 6 が「1」に設定されているときは、ビット 5 で「1（表示しない）」を設定しても機能しません。相手先のファクス番号 / アドレスを表示したくない場合は、ビット 6 も「1（管理者モードでのみ設定可能）」を指定してください。

（※ 2）「アドレス入力」で直接相手先を指定した場合は「1（表示しない）」に設定していても相手先が表示されます。

■ 文字入力画面の［削除］キーの削除方式を指定する（モード 478）

文字入力画面の［削除］キーの削除方法を指定します。

カーソルを合わせている文字を削除する方法と、カーソルの前の文字を削除する方法の 2 とおりから選択できます。

購入時の状態

ビット	７ ６ ５ ４　３ ２ １ ０
状態	０ ０ ０ ０　０ ０ ０ ０ （HEX : 00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	文字入力画面の［削除］キーの削除方式の指定	0	カーソルを合わせている文字を削除	p. 9-2
		1	カーソルの前の文字を削除	
6,5,4,3,2,1,0	---------------------	0000000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	----------

■ ユーザ認証をスキャン機能のみに限定する（モード 479）

ユーザ認証を【ファクス / スキャン】、【拡張スキャン】を押したときのみに限定できます。

購入時の状態

ビット	７６５４　３２１０
状態	０００００　００００（HEX：00）

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7,6,5	----------------------	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	----------
4,3,2,1,0	ファクス、スキャン機能に認証を限定する	11001	限定する	----------
		00000	限定しない	

必ず守ってください

モード 479 については、「指定のしかた」に記述されている以外の状態には設定しないでください。

8

第 9 章
付録

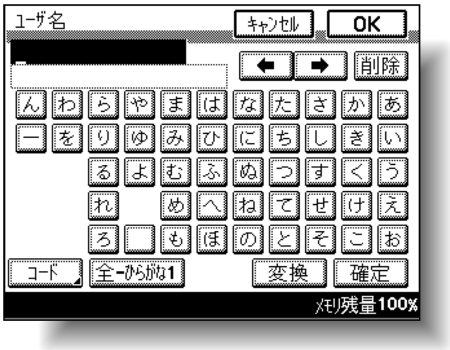
本機の使用にあたって、管理者保守で設定できる項目について説明します。

9.1 文字を入力するには

ワンタッチ登録やパスワードの入力などで文字を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力します。

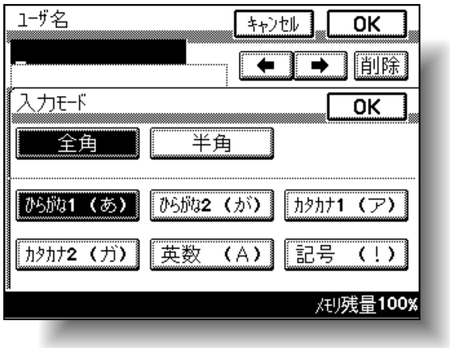
ここでは文字入力画面で入力モードを切換える手順を、本体認証登録のユーザ名画面で説明します。

1 文字入力画面で入力モード切替キーを押します。



入力モード画面が表示されます。

2 ［全角］または［半角］を押し、入力モードを選択します。



3 ［OK］を押します。

入力モードが選択されます。

ひとこと

- 入力モード切替キーには選択されている入力モード名（「全ーひらがな 1」など）が表示されます。
- 文字入力画面によっては入力モード画面または入力モード切替キーが表示されません。

詳しく説明します

［半角］が選択されている場合は、［ひらがな 1］および［ひらがな 2］は表示されません。

■ 英数字を入力する

1 入力モード画面で［英数］を押し、［OK］を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

❍ 数字はテンキーで入力します。



■ ひらがなを入力する

1 入力モード画面で［ひらがな 1］を押し、［OK］を押します。

❍ 濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、［ひらがな 2］を押します。

参照

入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」（p. 9-2）をごらんください。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウエア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 大文字を入力する場合は、［Caps］を押します。
- 大文字入力を解除するときは再度［Caps］を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

ひとこと

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

参照

入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」（p. 9-2）をごらんください。

2

表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

❍ 続けて濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、［ひらがな 1］を押し入力モードを［ひらがな 2］に設定します。



3

［確定］を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウエア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

ひとこと

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

■ カタカナを入力する

1 入力モード画面で［カタカナ 1］を押し、［OK］を押します。

❍ 濁音（「ガギグゲゴ」など）、半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力したいときは、［カタカナ 2］を押します。

2 表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



参照

入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」（p. 9-2）をごらんください。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウエア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

ひとこと

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

■ 漢字を入力する

1 入力モード画面で［ひらがな 1］を押し、［OK］を押します。

❍ 濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、［ひらがな 2］を押します。

参照

入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」（p. 9-2）をごらんください。

9

2 表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

❍ 続けて濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、［ひらがな 1］を押し入力モードを［ひらがな 2］に設定します。



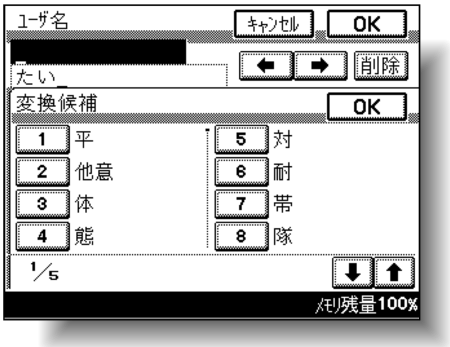
3 ［変換］を押します。

変換候補画面が表示されます。

詳しく説明します

- 熟語単位で変換できます。
- 入力した文字が、変換の対象になります。

4 表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。



詳しく説明します

候補が 9 個以上ある場合に、［↑］、［↓］のキーが現れます。

- ［↑］を押すと前候補が表示されます。
- ［↓］を押すと次候補が表示されます。

5 ［OK］を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウエア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」（p. 8-7）をごらんください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

ひとこと

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

■ 入力文字一覧

<table>
<tr><td>ひらがな</td><td>あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼぱぴぷぺぽゐゑ
ぁぃぅぇぉゃゅょっ　ー　(スペース)・「」</td></tr>
<tr><td>カタカナ</td><td>アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポヰヱ
ァィゥェォャュョッ　ー　(スペース)・「」</td></tr>
<tr><td>英数字／記号</td><td>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
(スペース)!"#$%&'()+,-./:;<=>?@[]_`{|}~*0123456789</td></tr>
</table>

9.2 用語集

	用語	説明
アルファベット	10BASE-T/ 100BASE-TX/ 1000BASE-T	Ethernet の規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。
	Active Directory	Microsoft が提供するネットワーク上に存在するサーバ、クライアント、プリンタなどのハードウェア資源や、それらを使用するユーザの属性、アクセス権などの情報を一元管理することができるサービスのこと。
	APOP	Authenticated Post Office Protocol の略。通常の POP が電子メールの受信に使われるパスワードを暗号化しないのに対して、パスワードを暗号化することで安全性が向上した認証方法のこと。
	Auto IP	自動で IP アドレスを取得する機能。DHCP による IP アドレス取得に失敗した場合、「169.254.0.0」のアドレス空間から任意の IP アドレスを取得する。
	bit	Binary Digit の略。コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
	BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
	Byte	コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8bit で構成される。
	Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピュータへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピュータやルータなどの機器のこと。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。DHCP サーバで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
	DNS	Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のパソコンにアクセスできるようになる。
	DPI（dpi）	Dots Per Inch の略。プリンタやスキャナなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
	FAX over IP	みなし音声による FAX 機能。 SIP-FAX アダプタ付き MFP 装置から FAX モードを選択し、相手先番号をダイヤルすることで、相手装置（G3 FAX 装置）に送信することができる。

	用語	説明
	GSS-SPNEGO/ Simple/Digest MD5	LDAP サーバーへのログオン時の認証形式。LDAP サーバーは使用するサーバーやサーバーの設定により認証形式が異なり、GSS-SPENEGO/Simple/Digest MD5 という認証形式がある。
	HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバとクライアント（Web ブラウザなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
	IMAP	Internet Message Access Protocol の略。サーバ上のメールボックスの管理機能を持つ電子メール受信用のプロトコルのこと。現在は IMAP のバージョン 4 である IMAP4 が主に使われている。
	IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンタにデータを送って印刷することもできる。
	IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コンピュータを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
	LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピュータ同士を接続したネットワークのこと。
	LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
	MH	Modified Huffman の略。ファクシミリ用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、10 分の 1 程度に圧縮される。
	MIB	Management Information Base の略。TCP/IP 通信において、SNMP を用いて収集されるネットワーク機器の管理情報フォーマットを定義したもの。メーカー独自のプライベート MIB と、標準化されたスタンダード MIB の 2 種がある。
	MMR	Modified Modified Read の略。ファクシミリ用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、20 分の 1 程度に圧縮される。
	NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
	OS（オーエス）	Operating System の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。

9

	用語	説明
	PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
	POP	Post Office Protocol の略。メールサーバから電子メール受信を行うため為のプロトコルのこと。現在は POP のバージョン 3 である POP3 が主に使われている。
	Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバのこと。
	SIP（Session Initiation Protocol）	VoIP を応用したインターネット電話などで用いられる、通話制御プロトコル。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
	SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
	SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Security の略。Web サーバとブラウザ間で安全にデータ通信するための暗号化方式のこと。
	TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
	TIFF	Tagged Image File Format の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .tif）。データの型を表す「タグ」によって、1 つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できる。
あ行	アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
	イーサネット（Ethernet）	LAN の伝送路に関する規格のこと。
	インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタドライバ等を、コンピュータのシステムに組み込むこと。
	ウェブブラウザ	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
か行	画素	画像を構成する最小単位のこと。
	解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
	階調	画像の濃淡の段階のこと。数が大きいほど、滑らかな濃度変化を再現できる。
	拡張子	ファイルの保存形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。ピリオドに続けて表記される。「.bmp」や「.jpg」など。
	クライアント	ネットワークを介して、サーバが提供するサービスを利用する側のコンピュータのこと。

	用語	説明
	グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
	ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
	コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差（明暗の差）のこと。明暗の差が少ない画像を「コントラストが低い画像」、明暗の差が大きい画像を「コントラストが高い画像」という。
さ行	サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
	シングルページ TIFF	1 つのファイルが 1 ページだけの TIFF ファイルのこと。
	線数	画像を形成する網点が、どれだけの密度で使われるかを示した数のこと。
	走査（scan）	スキャナの読み取り動作で、一列に並んだイメージセンサを少しずつ移動させながら画像を読み取っていくこと。イメージセンサを移動させる方向を主走査方向といい、イメージセンサが一列に並んでいる方向を副走査方向という。
た行	デフォルト	初期設定値のこと。電源ボタンをオンにしたときに、あらかじめ選択されている設定。または、ある機能をオンにしたときにあらかじめ選択されている設定。
	ドライバ	コンピュータと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
な行	濃度	画像の濃さを表す量のこと。
は行	ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。電源を OFF しても、データが保持される。
	ハーフトーン	画像の各部分の濃淡を、黒または白の点の大小で表現する方法のこと。
	ピクセル	画素のこと。画像を構成する最小単位。
	プリンタドライバ	コンピュータとプリンタの橋渡しをするソフトウェアのこと。
	プレビュー	印刷／スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
	プロトコル	コンピュータが他のコンピュータや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
	プロパティ	属性情報のこと。プリンタドライバを使用する際は、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
	ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
	ポート番号	ネットワーク上のコンピュータ内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使用することはできない。

	用語	説明
ま行	メモリ	データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。

■ あ行

インデックス

■ か行

確認する

検索する

■ さ行

削除する

受信する

接続する

設定する

送信する

■ た行

注意する

登録する

■ な行

入力する

■ は行

プログラム

変更する

■ わ行

ワンタッチ

9.4 項目別索引

数字・記号

アルファベット

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 **http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-510010（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00〜12:00 / 13:00〜17:00）

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

4040-9558-00

2006. 8